

Testabliish 入出力ファイル仕様

目次

1. [Testabliish テスト仕様書](#)
2. [Testabliish テストパターンファイル](#)
3. [Testabliish ページ設定ファイル](#)
4. [Testabliish ページテストテンプレートファイル](#)

1. Testabliish テスト仕様書

Testabliish は、作成したテストから **テスト仕様書** を自動作成できます。

テスト仕様書の出力手順は、別マニュアルの **簡単マニュアル > 5. Testabliish でテストを作成する > 5.3. テストの設定をする > 5.3.4. テスト仕様書を作成する** を参照してください。

- [1.1 テスト仕様書の設定](#)
- [1.2 テスト仕様書の構成](#)
 - [1.2.1 Excel形式のテスト仕様書](#)
 - [1.2.2 Word形式のテスト仕様書](#)
 - [1.2.3 テスト仕様書の項目](#)
 - [1.2.4 テスト仕様書のテンプレート](#)

1.1 テスト仕様書の設定

テスト仕様書は、**<テスト名>_TestDocument_<出力日時>.zip** としてダウンロードされます。

ダウンロードするには、テスト番号の設定が必要です。

テスト番号はテスト名をクリックして表示される **テスト基本情報編集ダイアログ** で設定することができます。

ダウンロード後、展開してください。

（Zipファイル解凍時、テスト名に日本語が含まれている場合、解凍後のファイル名の文字化けを防ぐため、Unicode（UTF-8 / UTF8）に対応した圧縮解凍ソフト（7z, Explzh 等）をご利用ください。）

テスト仕様書のファイルは、展開されたフォルダ内の **testspec_<出力日時>.xlsx** または **testspec_<出力日時>.docx** です。

テスト仕様書は、Excel（xlsx）形式と、Word（docx）形式から選択できます。

出力形式は、**プロジェクト設定** 画面の **テスト仕様書出力タイプ** から選択してください。

「**すべて**」を選ぶと、Excel形式とWord形式の両方が作成されます。

プロジェクト設定変更後は、必ず**保存** してください。

プロジェクト設定

ID: sample_docs

認証トークン: 3d2b982d46814d1ffd4ffc8d73f584f948e3206e55b40b9b4a6ff756816845db

名前: SAMPLE_05

プロジェクトとみなすURLs: http://localhost:3000

ハッシュ分割: OFF

対象ユーザ

未登録ユーザ

登録ユーザ

サブシステム

ID 名前 編集

ビューセット

区分 URL 編集

テスト仕様書出力タイプ: エクセル ワード すべて

テンプレートをアップロード(.xlsx/.docx)

参照... ファイルが選択されていません。

アップロード

DBバックアップ/リストア

バックアップ リストア

保存 削除

Fig. 1.1 プロジェクト設定：テスト仕様書出力タイプ

1.2 テスト仕様書の構成

テスト仕様書の内容は、Excel形式・Word形式で違いはありません。

1.2.1 Excel形式のテスト仕様書

Excel形式のテスト仕様書は、以下のように作成されます。

testspec_20200410-131134.xlsx - Excel

ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発

システム名

正常ログイン(デフォルト)

作成者admin2019/07/29

更新者admin2019/08/19

システム名		正常ログイン(デフォルト)										作成者	admin	2019/07/29	更新者	admin	2019/08/19
テストNo.												更新者	admin	2019/08/19			
テストケース												備考	テスト	予定日	実施日	結果	不具合管理No.
No.	画面名	No.	操作種別	操作	スクリーンショット	操作手順	備考	テスト	予定日	実施日	結果	不具合管理No.					
1	ブラウザオープン			/を開く		@tester_1_1_1@		@testDate_1_1_1@		@result_1_1_1@							
2	/			/が表示される		@tester_1_2_1@		@testDate_1_2_1@		@result_1_2_1@							
3	ログイン画面			ログイン画面が表示される		@tester_1_3_1@		@testDate_1_3_1@		@result_1_3_1@							
4	/login_redirect			/login_redirectが表示される		@tester_1_4_1@		@testDate_1_4_1@		@result_1_4_1@							
5	メニュー画面			メニュー画面をTopWindowで開く		@tester_1_5_1@		@testDate_1_5_1@		@result_1_5_1@							
6	映画検索画面			映画検索画面をDwindow_1564383630547で開く		@tester_1_6_1@		@testDate_1_6_1@		@result_1_6_1@							
7	検索結果一覧画面			検索結果一覧画面が表示される		@tester_1_7_1@		@testDate_1_7_1@		@result_1_7_1@							
8	映画検索画面			映画検索画面が表示される		@tester_1_8_1@		@testDate_1_8_1@		@result_1_8_1@							
9				/が表示される		@tester_1_2_2@		@testDate_1_2_2@		@result_1_2_2@							
10				[リンク]ログインページへ進む をクリックする		@tester_1_3_2@		@testDate_1_3_2@		@result_1_3_2@							
11				ログインボタン をクリックする		@tester_1_3_3@		@testDate_1_3_3@		@result_1_3_3@							
12				ユーザ名入力 の値を admin に変更する		@tester_1_3_4@		@testDate_1_3_4@		@result_1_3_4@							
13				パスワード入力 の値を 1 に変更する		@tester_1_3_5@		@testDate_1_3_5@		@result_1_3_5@							
14				ログインボタン をクリックする		@tester_1_3_6@		@testDate_1_3_6@		@result_1_3_6@							
15				メニュー画面をTopWindowで開く		@tester_1_5_2@		@testDate_1_5_2@		@result_1_5_2@							
16				映画検索画面をDwindow_1564383630547で開く		@tester_1_6_2@		@testDate_1_6_2@		@result_1_6_2@							
17				検索結果一覧画面が表示される		@tester_1_7_2@		@testDate_1_7_2@		@result_1_7_2@							
18				検索条件に関するボタン をクリックする		@tester_1_7_3@		@testDate_1_7_3@		@result_1_7_3@							
19				映画検索画面が表示される		@tester_1_8_2@		@testDate_1_8_2@		@result_1_8_2@							
20				/が表示される		@tester_1_2_3@		@testDate_1_2_3@		@result_1_2_3@							
21				[リンク]ログインページへ進む をクリックする		@tester_1_3_7@		@testDate_1_3_7@		@result_1_3_7@							
22				ログインボタン をクリックする		@tester_1_3_8@		@testDate_1_3_8@		@result_1_3_8@							
23				ユーザ名入力 の値を admin に変更する		@tester_1_3_9@		@testDate_1_3_9@		@result_1_3_9@							
24				パスワード入力 の値を 1 に変更する		@tester_1_3_10@		@testDate_1_3_10@		@result_1_3_10@							
25				ログインボタン をクリックする		@tester_1_3_11@		@testDate_1_3_11@		@result_1_3_11@							
26				ユーザ名入力 の値を admin に変更する		@tester_1_3_12@		@testDate_1_3_12@		@result_1_3_12@							
27				パスワード入力 の値を 1 に変更する		@tester_1_3_13@		@testDate_1_3_13@		@result_1_3_13@							
28				ログインボタン をクリックする		@tester_1_3_14@		@testDate_1_3_14@		@result_1_3_14@							
29				ユーザ名入力 の値を admin に変更する		@tester_1_3_15@		@testDate_1_3_15@		@result_1_3_15@							
30				パスワード入力 の値を 1 に変更する		@tester_1_3_16@		@testDate_1_3_16@		@result_1_3_16@							

1.2.3 テスト仕様書の項目

テスト仕様書は、以下の表の(1)～(20)の項目内容で構成されています。

テスト編集画面 対応項目 (A)～(I) は後の図に対応しています。

Table 1.2.3 テスト仕様書項目説明

No.	項目名	テスト編集画面 対応項目	説明
(1)	システム名	-	プロジェクト設定で付けたプロジェクト名
(2)	テストNo	-	テスト番号
(3)	テスト名	(A)テスト名	テスト編集画面で設定したテスト名
(4)	作成者	-	テストを作成したユーザID
(5)	作成日	-	テストを作成した日付
(6)	更新者	-	テストを最後に更新したユーザID
(7)	更新日	-	テストを最後に更新した日付
(8)	画面No	(B)画面番号	テスト編集画面に表示されている画面ステップ番号
(9)	画面名	(C)画面名	テスト編集画面に表示されている画面名
(10)	操作No	(D)操作番号	画面ごとの操作に表示されている操作番号
(11)	操作種別	-	操作種別
(12)	操作	(E)操作種類	テスト編集画面で表示されている操作種類
(13)	スクリーンショット	(G) スクリーンショット	テスト結果置換用文字列
(14)	操作手順	(C)画面名 (E)操作種類 (F)操作名 (I)値	テスト編集画面で表示した項目から、 操作手順の文章を作成して表示します。 表示操作の場合：「(C)画面名 が表示される」 値を用いない操作の場合：「(F)操作名 を (E)操作種類 する」 値を用いる操作の場合：「(F)操作名 を (I)値 に (E) 操作種類 する」
(15)	備考	(H)備考	テスト編集画面で操作に設定されている備考
(16)	テスト実施者	-	テスト結果置換用文字列
(17)	テスト予定日	-	空欄
(18)	テスト実施日	-	テスト結果置換用文字列
(19)	結果	-	テスト結果置換用文字列
(20)	不具合管理No	-	空欄

テスト仕様書は、テスト編集画面の表示内容から作成されます。

以下のテスト編集画面の(A)～(I)が上記の表の各項目に対応しています。

テスト仕様書に記載する内容を変更したい場合は、テスト編集画面の対応する項目を編集してください。

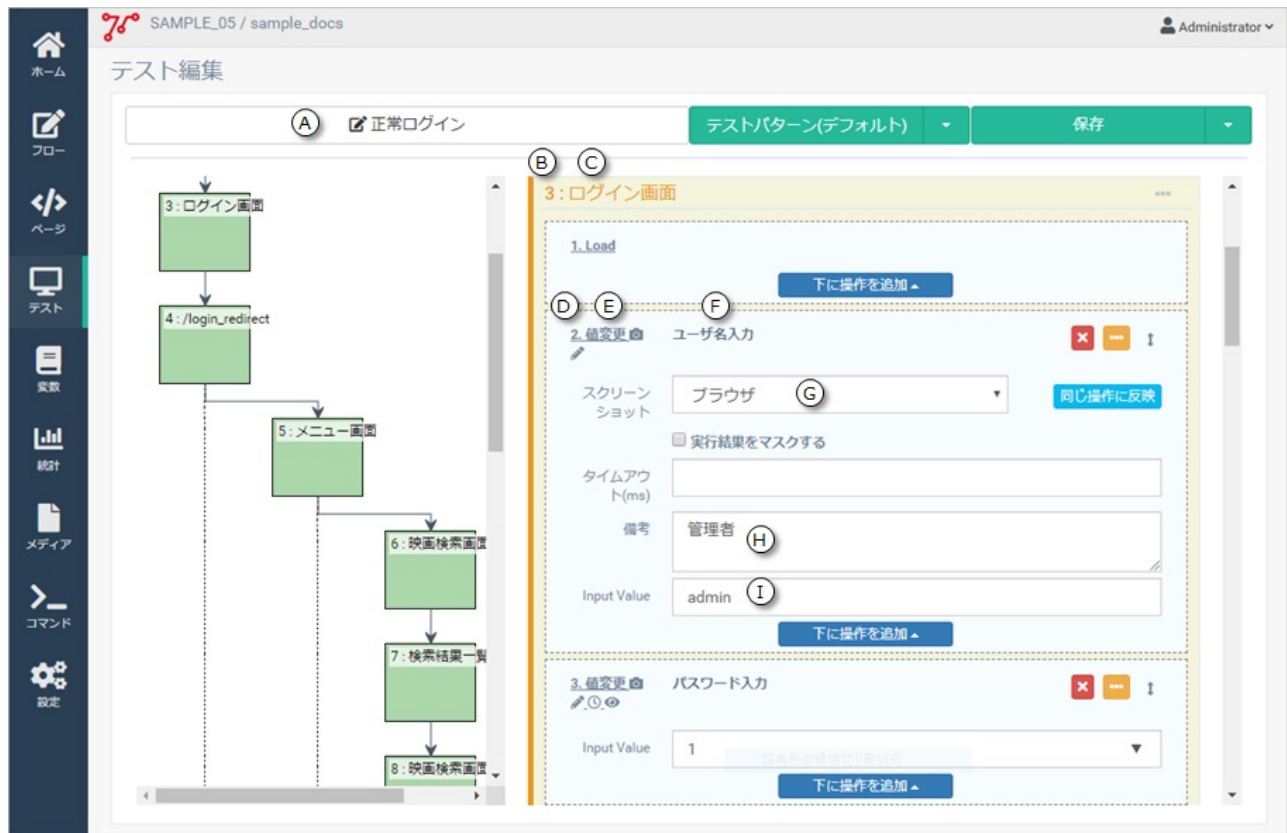


Fig. 1.2.3 テスト仕様書の対応項目

(13)スクリーンショット、(16)テスト実施者、(18)テスト実施日、(19)結果 に出力される **テスト結果置換用文字列** は、テスト実施時にそのテスト実行時の情報を置き換えるための文字列です。

この置換用文字列は、テスト仕様書へのテスト実行結果のマージ設定が有効になっているテスト実行時に置き換えられるもので、実行結果のマージ機能はテストコードを出力した際のフォルダ内に同時に生成される仕様書を対象としています。

このため、ユーザがテスト編集画面のプルダウンメニュー("テスト仕様書の出力"、"テスト仕様書の出力(全パターン)")で出力したテスト仕様書に出力されている置換用文字列は置換されることはありません。

詳しくは 別マニュアルの **使い方マニュアル > II. 各画面の説明 > 5. テスト メニュー > 5.5 テスト仕様書へのテスト実行結果のマージ** を参照してください。

1.2.4 テスト仕様書のテンプレート

Excel および Word形式のテスト仕様書は、テンプレートファイルをアップロードすることで、その様式を変更することができます。

アプリケーションに同梱されている 下記のテンプレートファイルをお好みの様式に編集してください。

- testspec-template.xlsx (エクセル)
- testspec-template.docx (ワード)

プロジェクト設定の **テンプレートファイルをアップロード** より、テンプレートファイルをアップロードすることができます。

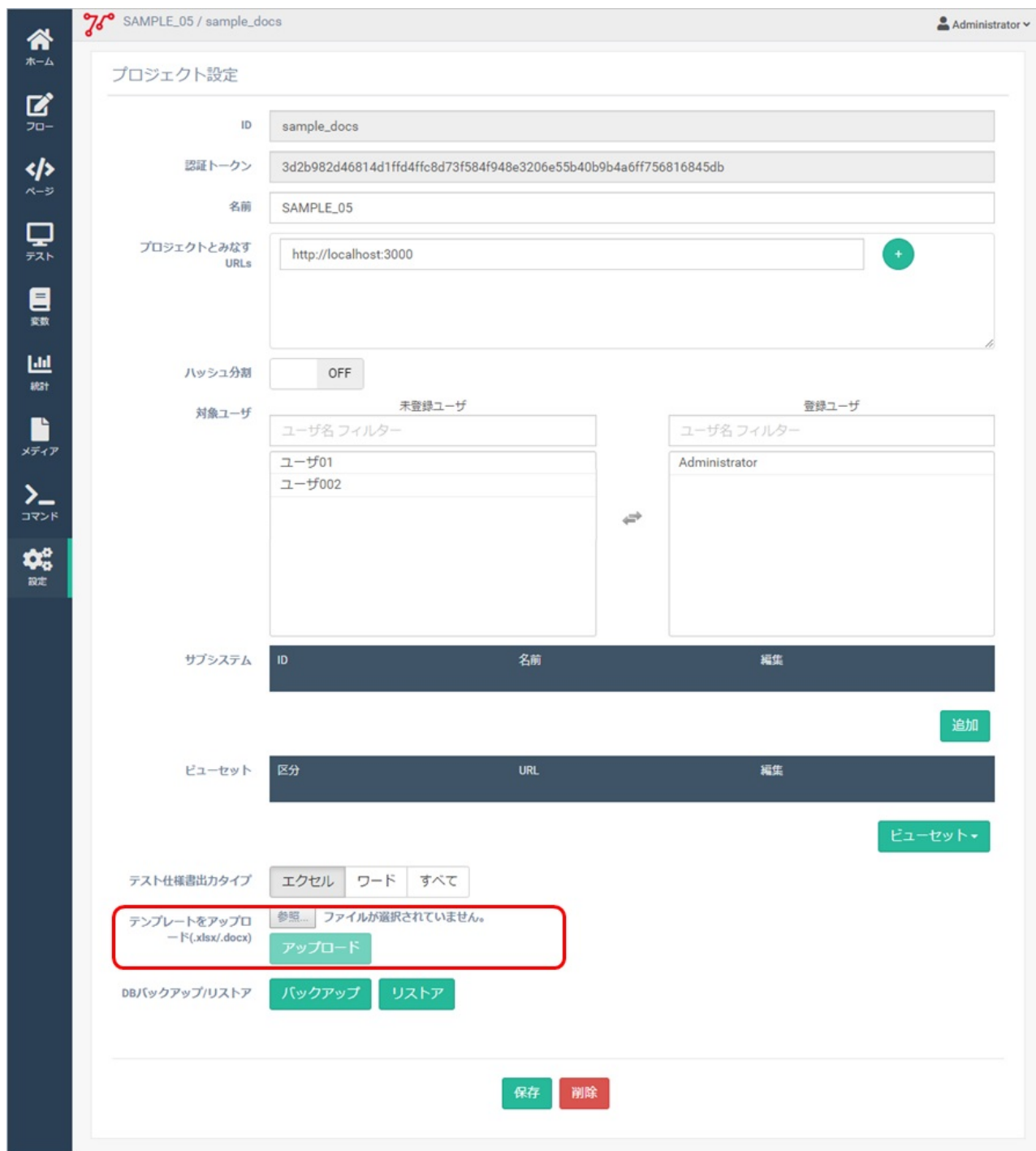


Fig. 1.2.4. プロジェクト設定 : テンプレートファイルをアップロード

[1. テスト仕様書 目次](#) | [入出力ファイル仕様 目次](#) に戻る

2. Testabliish テストパターンファイル

Testabliish は、作成したテストを **テストパターンファイル** として出力することで、実施するテストのパターンの追加・変更ができます。

テストパターンファイルのダウンロード・アップロード手順は、別マニュアルの **簡単マニュアル > 5.**

Testabliish でテストを作成する > 5.3. テストの設定をする > 5.3.2 テストパターンをダウンロード・アップロードする を参照してください。

- [2.1 テストパターンファイルのダウンロード](#)
- [2.2 テストパターンファイルの構成と編集要領](#)
 - [2.2.1 パターンの追加](#)
 - [2.2.2 パターンの設定](#)
 - [2.2.3 パターン編集の注意点](#)
- [2.3 テストパターンファイルのアップロード](#)

2.1 テストパターンファイルのダウンロード

作成したばかりのテストには、パターンは **デフォルト** だけがある状態です。

テストパターンをダウンロードするには、テストパターンプルダウンメニューから **ダウンロード** を選択します。

テストパターンファイルは、**<テスト名>_output_<出力日時>.xlsx** としてダウンロードされます。

テストパターンファイルは、テスト編集画面に表示しているテストシナリオの保存されている内容を出力します。

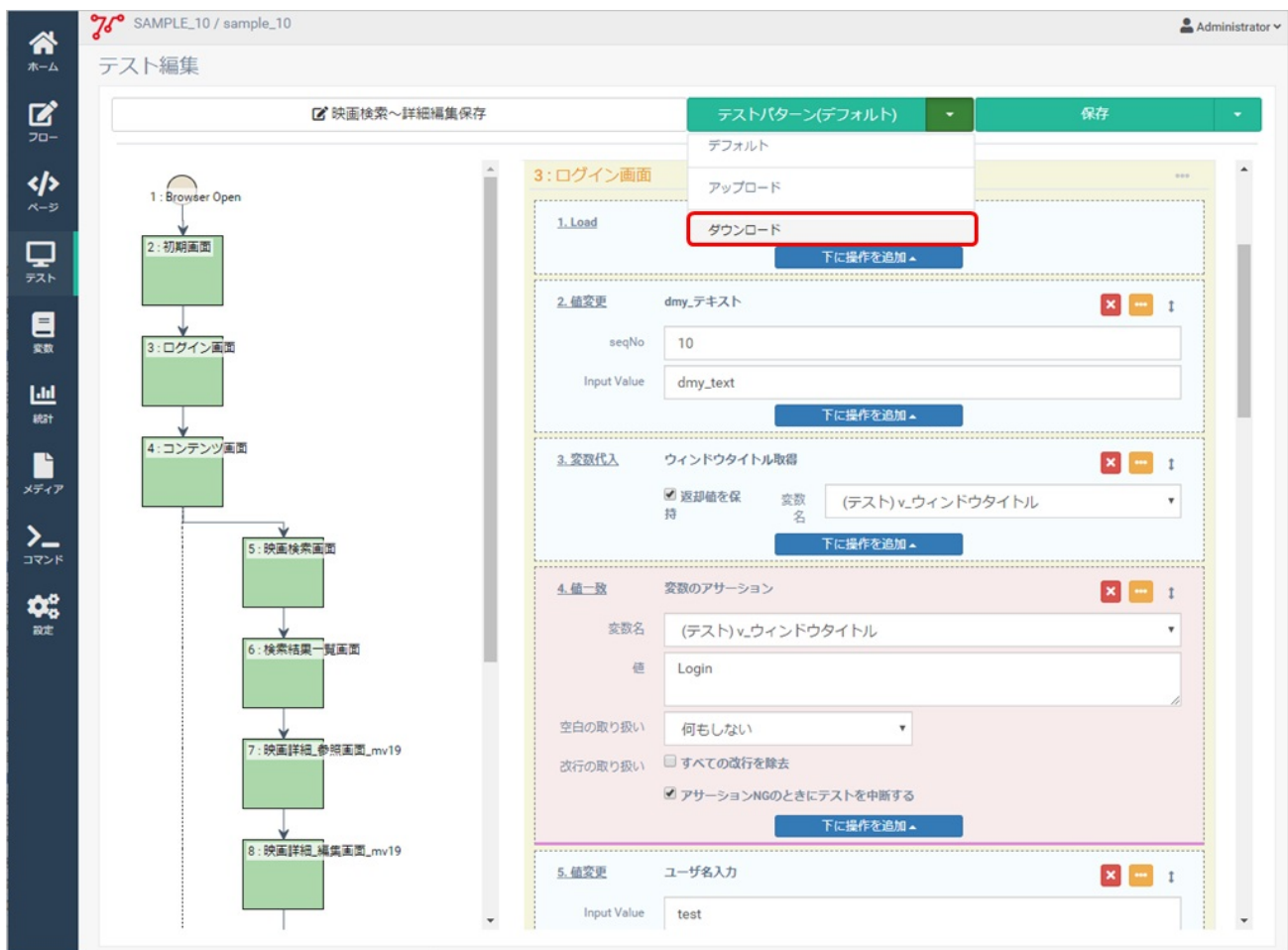


Fig. 2.1 パターンのダウンロード

2.2 テストパターンファイルの構成と編集要領

テストパターンファイルは、Excel形式でダウンロード時に指定した場所に作成されます。

作成されたパターンファイルには、**デフォルト値**の他に、**パターン1**も追加されています。

- ・デフォルト値にはテスト編集画面で設定されている値が指定されています。
- ・パターン1には 設定値は指定されていません。

テストパターンファイルは、以下の表の(1)～(24)の項目内容で構成されています。

テスト編集画面 対応項目 (A)～(K) は後の図に対応しています。

基本的に操作ステップ1つにつき1行で表現されますが、操作ステップが「**変数のアサーション**」の場合は**2行**で表現されます。

このとき、1行目が操作ステップに関する各種情報、2行目が「値」が表示されます。

詳しくは [\(1\) 変数のアサーション設定時のパターン設定](#) を参照してください。

また、操作後の流れのダイアログアサーションが設定されている場合、1行目が操作ステップに関する各種情報、2行目以降がダイアログアサーションに関する設定が4行単位(target_index、assertion_type、assertion_value、interruption)で値が表示されます。

詳しくは [\(2\) 操作後の流れ内のダイアログアサーション設定時のパターン設定](#) を参照してください。

Table 2.2 テストパターンファイル項目および編集要領

No	項目名	テスト編集画面 対応項目	必須	ユーザ 編集	説明
(1)	テストID	-	○	不可	テストID
(2)	テスト番号	(テスト基本情報 編集ダイアログ)	-		テスト編集画面で設定した テスト番号が表示されます。
(3)	テスト名	(A) テスト名	○		テスト編集画面で設定した テスト名が表示されます。
(4)	ステップ	(B) 画面番号	○		ステップ番号が表示されます。
(5)	画面ID	-	○		画面IDが表示されます。
(6)	画面名	(C) 画面名	○		ステップの画面名が表示されます。
(7)	操作ステップ	(D) 操作番号	○		ステップ(画面)内の操作番号が表示されます。
(8)	操作	操作タイプ	○		操作のタイプが表示されます。 (10)が「変数のアサーション」の場合、 "common" となります。
(9)	操作の種類	(E) 操作種類	○		操作種類が表示されます。
(10)	対象	(F)操作名	○		テスト編集画面で表示した操作名 操作名が「変数のアサーション」の場合、 次行のこの欄は空白になります。
(11)	デフォルトパターン名	-	○	不可	
(12)	値 タイトル	(G) 値の設定先	-		値の設定先が表示されます。 (10)が「変数のアサーション」の場合、 「変数名」「値」の2行で表現されます。 詳しくは (1) 変数のアサーション設定時のパターン設定 を参照してください。
(13)	値	(H) 値	-		テスト編集画面で指定した 設定値が表示されます。
(14)	置き換え文字	セレクト内の 置き換え文字	-		操作のセレクトに設定されている 置き換え文字が表示されます。
(15)	値	(J) 値	-		テスト編集画面で指定した 正規表現に一致する値が表示されます。
(16)	操作後の流れ： タイトル	-	-	可	操作後の流れに設定されているプロンプトや アサーションの値を設定します。詳しくは 操作後の流れ内のダイアログアサーション設 定のパターン設定 を参照してください。
(17)	操作後の流れ：値	-	-		
(18)	追加パターン名	(K) 追加パターン名	○	可	追加したパターンの名前を指定します。
(19)	値 タイトル	(12) と同じ	-	不可	値の設定先が表示されます。
(20)	値	(13) と同じ	-	可	設定値を指定します。

(21)	置き換え文字	(14) と同じ	-	不可	操作のセレクトに設定されている置き換え文字が表示されます。
(22)	値	(15) と同じ	-	可	正規表現に一致する値を指定します。
(23)	Prompt Value	(16) と同じ	-	不可	操作後の流れで 「プロンプト-OK」 「プロンプト-キャンセル」 を選択している場合に "Prompt Value" と表示されます。
(24)	値	(17) と同じ	-	可	操作後の流れで 「プロンプト-OK」 「プロンプト-キャンセル」 を選択している場合の プロンプト値を指定します。

A		B		C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	テストID	caf7c040-7945-11ea-b7a9-c941		①	テスト番号	Defa	②	テスト名	映画検索～詳細編集		③	⑪
2	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
3	ステップ	画面ID	画面名	操作ステップ	操作	操作の種類	対象	値	置き換え文字	デフォルト値		
4	1	85778bd0-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	初期画面	1	open	load	Page Load					
5	2	85778bd0-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	初期画面	2	operation	click	ログインページへ進む リンク	Input Value				
6	3	89bef980-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	ログイン画面	1	operation	load	Page Load					
7	3	89bef980-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	ログイン画面	2	operation	change	dmy テキスト	Input Value	dmy_text	{{0}}	10	
8	3	89bef980-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	ログイン画面	3	script	script	ウィンドウタイトル取得	変数名	v_ウィンドウタイトル			
9	3	89bef980-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	ログイン画面	4	common	variable-value-equal	変数のアサーション	変数名	v_ウィンドウタイトル			
10	3	89bef980-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	ログイン画面									
11												
12	3	89bef980-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	ログイン画面	5	operation	change	ユーザ名入力	Input Value	test			
13	3	89bef980-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	ログイン画面	6	operation	change	パスワード入力	Input Value	aaa			
14	3	89bef980-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	ログイン画面	7	operation	click	ログインボタン	Input Value				
15	4	923d5a20-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	コンテンツ画面	1	operation	load	Page Load					
16	4	923d5a20-78a6-11ea-acda-2127cb614a2	コンテンツ画面	2	operation	click	Menu_映画検索	Input Value				
17	5	cf24fa00-78a7-11ea-acda-2127cb614a23	映画検索画面	1	operation	load	Page Load					
18	5	cf24fa00-78a7-11ea-acda-2127cb614a23	映画検索画面	2	operation	change	映画公開年入力	Input Value	2015			
19	5	cf24fa00-78a7-11ea-acda-2127cb614a23	映画検索画面	3	operation	click	検索ボタン	Input Value				
20	6	d36821f0-78a7-11ea-acda-2127cb614a2	検索結果一覧画面	1	operation	load	Page Load					
21	6	d36821f0-78a7-11ea-acda-2127cb614a2	検索結果一覧画面	2	operation	click	#item-mv19	Input Value				
22	7	d36821f0-78a7-11ea-acda-2127cb614a2	映画詳細 参照画面 mv19	1	operation	load	Page Load					
23	7	d36821f0-78a7-11ea-acda-2127cb614a2	映画詳細 参照画面 mv19	2	operation	click	編集するボタン	Input Value	編集する			
24	8	d370ad70-78a7-11ea-acda-2127cb614a2	映画詳細 編集画面 mv19	1	operation	load	Page Load					
25	8	d370ad70-78a7-11ea-acda-2127cb614a2	映画詳細 編集画面 mv19	2	operation	click	保存するボタン	Input Value				
26												
27												
28												
29												
30												
31												
32												
33												
34	9	d36821f0-78a7-11ea-acda-2127cb614a2	映画詳細 参照画面 mv19	1	operation	load	Page Load					
35	9	d36821f0-78a7-11ea-acda-2127cb614a2	映画詳細 参照画面 mv19	2	operation	click	一覧に戻るボタン	Input Value	一覧に戻る			
36	10	d36821f0-78a7-11ea-acda-2127cb614a2	検索結果一覧画面	1	operation	load	Page Load					
37	10	d36821f0-78a7-11ea-acda-2127cb614a2	検索結果一覧画面	2	operation	click	検索条件に戻るボタン	Input Value	検索条件に戻る			
38	11	cf24fa00-78a7-11ea-acda-2127cb614a23	映画検索画面	1	operation	load	Page Load					
39	11	cf24fa00-78a7-11ea-acda-2127cb614a23	映画検索画面	2	close							
40												

G		H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
詳細編集保存		⑪		⑮		⑮		⑮		⑮		⑮	
種類	対象	値	置き換え文字	操作後の流れ	値	置き換え文字	操作後の流れ	値	置き換え文字	操作後の流れ	値	置き換え文字	操作後の流れ
	Page Load												
	ログインページへ進む リンク	Input Value											
	Page Load												
	dmy テキスト	Input Value	dmy_text	{{0}}	10								
	ウィンドウタイトル取得	変数名	v_ウィンドウタイトル										
	変数のアサーション	変数名	v_ウィンドウタイトル										
	ユーザ名入力	Input Value	test										
	パスワード入力	Input Value	aaa										
	ログインボタン	Input Value											
	Page Load												
	Menu_映画検索	Input Value											
	映画公開年入力	Input Value	2015										
	検索ボタン	Input Value											
	#item-mv19	Input Value											
	編集するボタン	Input Value	編集する										
	保存するボタン	Input Value											
				target_index	1						target_index	1	
				assertion_type	text-equal						assertion_type	text-equal	
				assertion_value	更新してよろしいですか？						assertion_value		
				interruption	true						interruption		
				target_index	2						target_index	2	
				assertion_type	text-include						assertion_type	text-include	
				assertion_value	成功						assertion_value		
				interruption	true						interruption		
	Page Load												
	一覧に戻るボタン	Input Value	一覧に戻る										
	検索条件に戻るボタン	Input Value	検索条件に戻る										

Fig. 2.2-1 Testabishテストパターンファイル

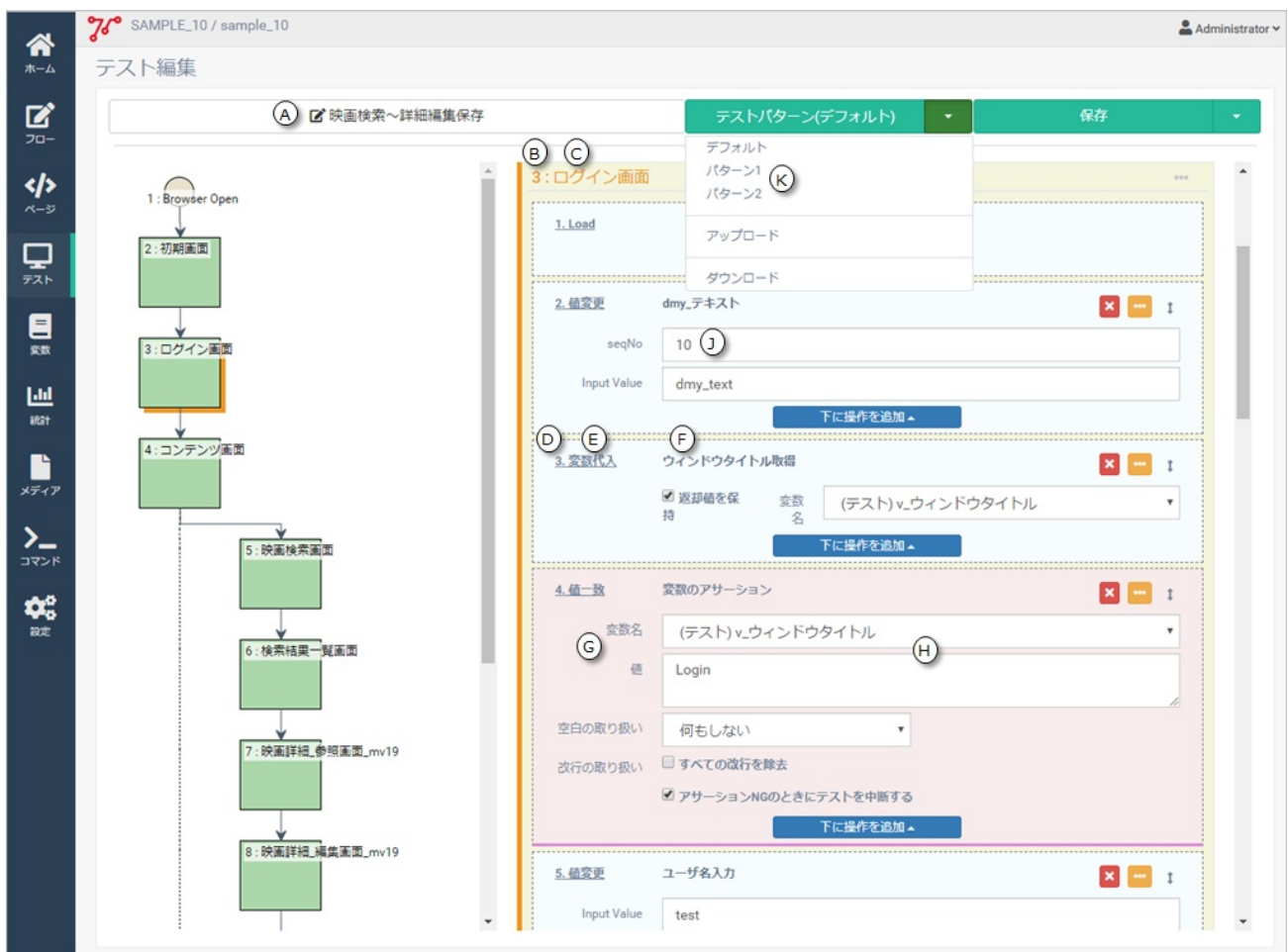


Fig. 2.2-2 テストパターンファイルの対応項目

テストパターンファイルでは、操作の中のシーケンス一つにつき1行で表現されますが、下記のアサーションを設定している場合に、複数行で表現されます。

(1) 変数のアサーション設定時のパターン設定

テスト編集画面で変数のアサーションが設定されている場合、値のカラム (Fig. 2.2-1 Testablishテストパターンファイルの (12)(13)) が「変数名」「値」の2行になります。

4. 値一致

変数のアサーション

変数名

(テスト)v_ウィンドウタイトル

値

Login

空白の取り扱い

何もしない

改行の取り扱い

☐ すべての改行を除去
☒ アサーションNGのときにテストを中断する

下に操作を追加

Default	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
テスト名	映画検索～詳細編集保存									
操作ステップ	操作	操作の種類	対象	デフォルト値						
				値	置き換え文字	操作後の流れ				
1	open									
2	operation	load	Page Load							
3	operation	click	ログインページへ進む_リンク	Input Value						Input
4	operation	load	Page Load							
5	operation	change	dmy_テキスト	Input Value	dmy_text	{0}	10			Input
6	script	script	ウィンドウタイトル取得	変数名	v_ウィンドウタイトル					変数名
7	common	variable-value-equal	変数のアサーション	変数名	v_ウィンドウタイトル					変数名
8				値	Login					値
9	operation	change	パスワード入力	Input Value	test					Input

Fig. 2.2-3(1) 変数のアサーション設定時のパターン設定

(2) 操作後の流れ内のダイアログアサーション設定時のパターン設定

テスト編集画面で操作後の流れのシーケンスで、ダイアログアサーションが設定されている場合、値のカラム（Fig. 2.2-1 Testablishテストパターンファイルの (12)(13)）が下記の4行になります。

target_index：ダイアログの表示順

assertion_type：検証種類

assertion_value：検証内容

interruption：アサーションNGの時にテストを中断する (true/false)

2. クリック

保存するボタン confirm-ok,alert

☒ ダイアログアサーション
☒ デスクトップスクリーンショット

1. 確認] 更新してよろしいですか？

テキスト一致

更新してよろしいですか？

☒ アサーションNGのときにテストを中断する

2. [アラート] 更新に成功しました。詳細に戻ります。

テキストを含む

成功

☒ アサーションNGのときにテストを中断する

Default	テスト名	映画検索～詳細編集保存								
操作ステップ	操作	操作の種類	対象	デフォルト値						
				値	置き換え文字	操作後の流れ				
1	operation	load	Page Load							
2	operation	click	保存するボタン	Input Value						Input
								target_index	1	
								assertion_type	text-equal	
								assertion_value	更新してよろしいですか？	
								interruption	true	
								target_index	2	
								assertion_type	text-include	
								assertion_value	成功	
								interruption	true	
3	operation	load	Page Load							

Fig. 2.2-3(2) 操作後の流れ設定時のパターン設定

2.2.1 パターンの追加

テストパターンファイルの (11)デフォルト値 でカテゴライズされている(12)~(17)の6列がデフォルトのテストパターンの内容です。

デフォルト値 列の右に (11)デフォルト値 と **同じ構成の6列を追加** することで、新しいテストパターンを追加できます。最初にダウンロードした際には、すでに **パターン1** が追加されている状態です。

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
2	テストID	8bb488d0-c308-11e9-8959-27	テスト番号	1-1	テスト名	メニュー 表示		デフォルト値						パターン1					
3	ステップ	画面ID	画面名	操作ステップ	操作	操作の種類	対象	値	置き換え文字	操作後の流れ				値	置き換え文字	操作後の流れ			
4	1	126ddd00-b1ce-11e9-adcc-357d887/		1	open	load	Page Load												
5	2	126ddd00-b1ce-11e9-adcc-357d887/		1	operation	click	[リンク]ログインページへ進む	Input Value						Input Value					
6	2	126ddd00-b1ce-11e9-adcc-357d887/		2	operation	click													
7	3	128bc540-b1ce-11e9-adcc-357d887	ログイン画面	1	operation	load	Page Load												
8	3	128bc540-b1ce-11e9-adcc-357d887	ログイン画面	2	operation	change	dmy_テキスト	Input Value	dmy_text	{{0}}	10			Input Value					
9	3	128bc540-b1ce-11e9-adcc-357d887	ログイン画面	3	script	script	ウィンドウタイトル取得	変数名	v_ウィンドウタイトル					変数名	v_ウィンドウタイトル				
10	3	128bc540-b1ce-11e9-adcc-357d887	ログイン画面	4	common	variable-value-equal	変数のアサーション	変数名	v_ウィンドウタイトル					変数名	v_ウィンドウタイトル				
11																			
12	3	128bc540-b1ce-11e9-adcc-357d887	ログイン画面	5	operation	change	ユーザ名入力	Input Value	admin					Input Value					
13	3	128bc540-b1ce-11e9-adcc-357d887	ログイン画面	6	operation	change	パスワード入力	Input Value	1					Input Value					
14	3	128bc540-b1ce-11e9-adcc-357d887	ログイン画面	7	assertion	value-equal	パスワード入力												
15	3	128bc540-b1ce-11e9-adcc-357d887	ログイン画面	8	operation	click	ログインボタン	Input Value						Input Value					
16	4	14f83160-b1ce-11e9-adcc-357d887	/login_redirect	1	operation	load	Page Load												
17	5	14fb3ea0-b1ce-11e9-adcc-357d887	メニュー画面	1	operation	load	Page Load												

Fig. 2.2.1 テストパターンの追加

テストパターンは複数追加することもできます。

必要に応じて列を追加し、それぞれに追加パターン名・追加パターン値を設定してください。

2.2.2 パターンの設定

追加したパターンの列名に、**追加パターン名** を入力してください。パターン名は任意に設定できます。

追加したパターンに、**追加パターン値** を入力してください。

値は **値**、**置き換え文字**、**操作後の流れ** がある行の **値** 列のみ入力できます。

値が空のテストパターンにすることも可能です。

	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
対象	デフォルト値						パターン1						パターン2						
	値	置き換え文字	操作後の流れ			値	置き換え文字	操作後の流れ			値	置き換え文字	操作後の流れ						
Page Load																			
[リンク]ログインページへ進む	Input Value						Input Value							Input Value					
Page Load																			
dmy_テキスト	Input Value	dmy_text	{{0}}	10			Input Value	dmy_text	{{0}}	5				Input Value	dmy_text	{{0}}	3		
ウィンドウタイトル取得	変数名	v_ウィンドウタイトル					変数名	v_ウィンドウタイトル						変数名	v_ウィンドウタイトル				
変数のアサーション	変数名	v_ウィンドウタイトル					変数名	v_ウィンドウタイトル						変数名	v_ウィンドウタイトル				
	値	Login					値	Login						値	Login				
ユーザ名入力	Input Value	admin					Input Value	admin						Input Value	admin				
パスワード入力	Input Value	1					Input Value	1						Input Value	1				
	値	1					値	1						値	1				
ログインボタン	Input Value				Prompt Value	あああ	Input Value				Prompt Value	555		Input Value				Prompt Value	333
Page Load																			
Page Load																			

Fig. 2.2.2 テストパターンの設定

2.2.3 パターン編集の注意点

行(ステップ)の追加・削除はできません。

上記の 追加パターン名・追加パターン値 **以外** の項目は、**編集不可** です。

編集不可の項目を変更した場合、**不正なパターンファイル**となり**アップロードが失敗**します。

パターンファイルが使用できなくなるので、上記以外の箇所の編集は行わないようにしてください。

テスト名・画面名などの項目の変更はパターンファイルからではなく、Testabliish上の各編集画面から行うようにしてください。

2.3 テストパターンファイルのアップロード

テストパターンファイルをアップロードすると、追加したパターンがTestabliishに反映されます。テスト編集画面のテストパターンプルダウンメニューに、追加したパターンの **追加パターン名** が表示されるようになります。

パターンを複数追加した場合は、パターンの数だけ追加されます。

パターンをプルダウンメニューから選択することで、そのパターンのテスト内容が画面に表示されます。

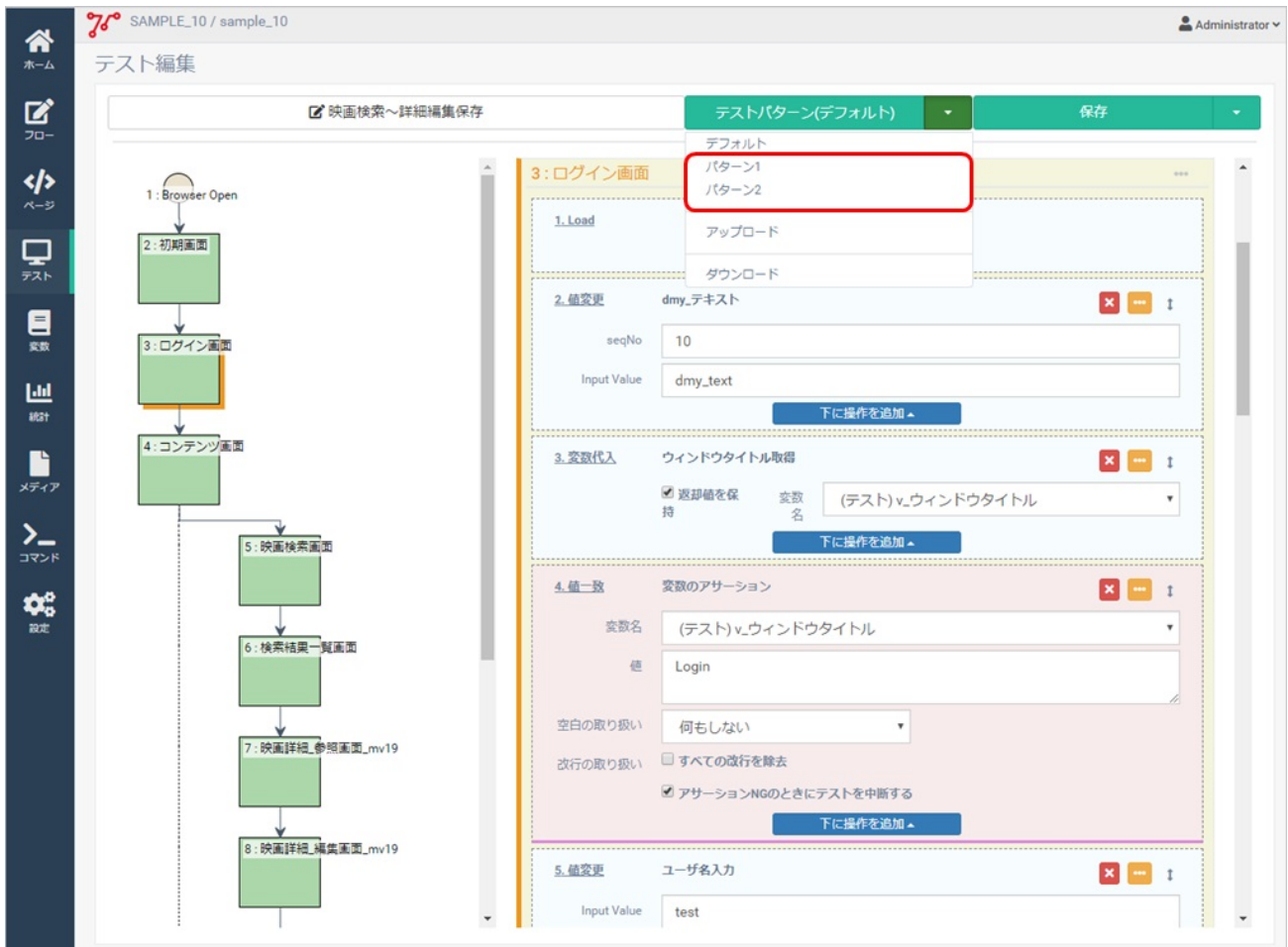


Fig. 2.3 パターンのアップロード

[2. テストパターンファイル 目次](#) | [入出力ファイル仕様 目次](#) に戻る

3. Testabliish ページ設定ファイル

Testabliish は ページ設定を **ページ設定ファイル** としてエクスポートし、このファイルを編集してインポートすることで、ページ設定の追加・更新をすることができます。

編集したページ設定ファイルをインポートすると、 **ページ設定インポート結果ファイル** が出力されます。

- [3.1 ページ設定ファイルのエクスポート](#)
- [3.2 ページ設定ファイルの構成と編集要領](#)
 - [3.2.1 基本情報シート](#)
 - [3.2.2 操作シート](#)
 - [3.2.3 操作前の流れシート](#)
 - [3.2.4 操作後の流れシート](#)
 - [3.2.5 アサーションシート](#)
- [3.3 ページ設定ファイルのインポート](#)
 - [～漢字混じりの項目をインポートする時の注意～](#)
- [3.4 ページ設定インポート結果ファイル](#)

3.1 ページ設定ファイルのエクスポート

ページ情報をエクスポートするには、ページ情報の基本情報画面下部の **エクスポート** ボタンをクリックします。

ページ設定ファイルは **<プロジェクト名>_page_<出力日時>.xlsx** の名称でエクスポートされます。



Fig. 3.1 Testablish ページ情報 エクスポートボタン

3.2 ページ設定ファイルの構成と編集要領

ページ設定ファイルは Excel形式で、ダウンロード時に指定した場所に作成されます。
 ページ設定ファイルは <プロジェクト名>_page_<出力日時>.xlsx の名称で出力されます。
 ページ設定ファイルは、以下の5つのシートで構成されます。

- 基本情報
- 操作
- 操作前の流れ
- 操作後の流れ
- アサーション

3.2.1 基本情報シート

ページ設定ファイル：基本情報シート は、以下の表の (1)~(2) の項目内容で構成されています。
 ページ編集画面 基本情報 対応項目 (A) は後の図に対応しています。

Table 3.2.1 ページ設定ファイル：基本情報シート 項目説明

No	項目名	基基本情報画面 対応項目	必須	ユーザ 編集	説明
(1)	画面ID	-	○	不可	画面IDが表示されます。

No	項目名	基基本情報画面 対応項目	必須	ユーザ 編集	説明
(2)	画面名	(A) ページ名	-	可	画面名（ページ名）を記載します。 この内容で更新されます。

	A	B	C	D	E
1	画面ID ①	画面名 ②			
2	44dd3300-2851-11e9-9c56-116e11cae613	ログイン画面			
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					

基本情報 操作 操作前の流れ 操作後の流れ アサーション (+)

Fig. 3.2.1-1 ページ設定ファイル：基本情報シート

SAMPLE_05 / sample_docs Administrator

ページ情報：ログイン画面

基本情報 操作 アサーション スクリプト テンプレート

ページ名 ログイン画面 (A)

ページキー(自動) /login

保存

アップロードファイル

ここにファイルをドロップしてください。

ページのHTMLをZipでアーカイブしたものをアップロードしてください。

ページ設定

エクスポート インポート

使用しているテストの参照

依存一覧

Fig. 3.2.1-2 ページ情報:基本情報画面

基本情報シートでは、行を追加することはできません。

基本情報シートで可能な編集は、画面名(ページ名)の変更のみです。

3.2.2 操作シート

ページ設定ファイル：操作シート は、以下の表の (1)～(7) の項目内容で構成されています。
 ページ編集画面 操作 対応項目 (A)～(E) は後の図に対応しています。

Table 3.2.2 ページ設定ファイル：操作シート 項目説明

No	項目名	操作編集画面 対応項目	必須	ユーザ 編集	説明
(1)	操作No	-	○	-	操作に対して自動的に振られている番号です。 新規作成の場合は手入力します。
(2)	操作ID	-	-	可	操作IDが指定されていれば更新、 空白の場合は新規追加になります。
(3)	対象名	(A) 対象名	新規時○	可	ページ編集画面で表示する対象名を記載します。
(4)	セレクト	(B) セレクト	新規時○	可	操作のCSSセレクトを記載します。
(5)	クリック ダブルクリック 値変更 キー入力 マウスオーバー	(C) 操作タイプ	○	可	チェック有：○ チェック無：(空白)
(6)	入力タイプ	(D) 入力タイプ	-	可	指定できる入力タイプは以下の通りです。 text, password, checkbox, radio, file, textarea, select-one, select-multiple, hidden, number, search, tel, url, email, datetime, datetime-local, date, time, month, week, range, color, submit, reset, button, image
(7)	タグ名	(E) タグ名	-	可	セレクトが設定されているタグ名を記載します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	操作No	操作ID	対象名	セレクト	クリック	ダブルクリック	値変更	キー入力	マウスオーバー	入力タイプ	タグ名
2	1	oad									
3	2	418617e0-c314-11e9-8959-274577717e1a	dmy_テキスト	#dmy_field{{0}}			○			text	input
4		{{0}}	seqNo	[0-9]							
5	3	12a519a0-b1ce-11e9-adcc-357d88746481	パスワード入力	#inputPassword	○		○	○		password	input
6	4	12953b20-b1ce-11e9-adcc-357d88746481	ユーザ名入力	#inputUsername	○		○	○		text	input
7	5	2e6273b0-bd9d-11e9-905d-35bb9b18fcea	ログインボタン	#loginForm > button	○					submit	button
8											

基本情報 操作 操作前の流れ 操作後の流れ アサーション

Fig. 3.2.2-1 ページ設定ファイル：操作シート

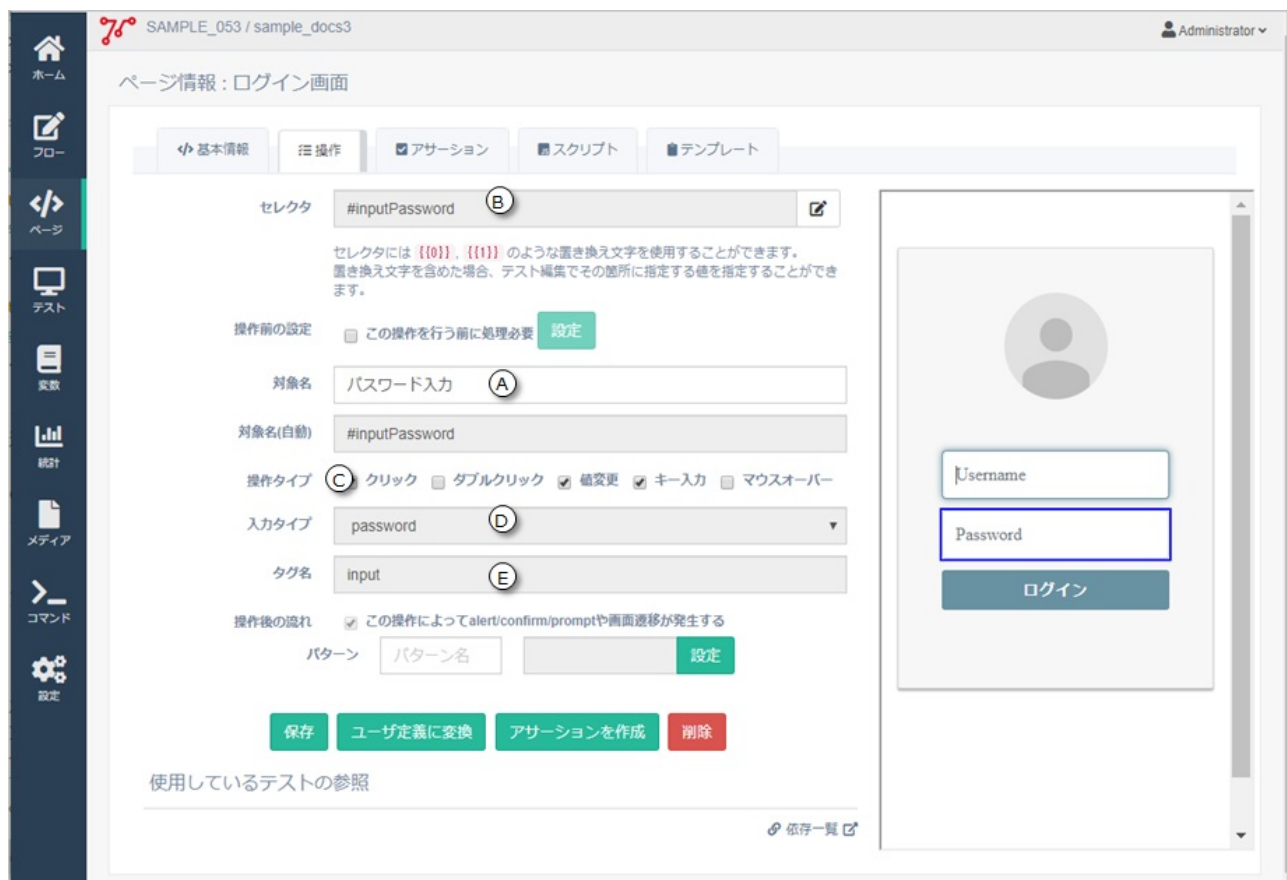


Fig. 3.2.2-2 ページ情報:操作画面

エクスポートした内容を編集し、既存の内容を更新することができます。
行を新規追加することで、操作を追加することができます。

新規追加の場合は、(2)操作IDが空欄の行を作成します。
この場合、(3)対象名、(4)セクタ、(6)入力タイプは **必須**、その他の項目は適宜指定してください。

操作キャプチャで自動作成されている操作(auto)の場合に設定できない項目((3)対象名 以外)を変更した場合、自動的に **ユーザ定義に変換** されて反映されます。

操作のセクタに置き換え文字(ex: {{0}})が含まれている場合、次の行以降にその置き換え文字の定義行が追加されます。

置き換え文字の定義は、B列から **置き換え文字、名称、正規表現** の順に指定します。

置き換え文字が複数ある場合は、その数だけ行が追加されます。

存在しない置き換え文字は指定できません。

指定しなかった置き換え文字の名称、正規表現は空白になります。

	A	B	C	D	E	F
1	操作 No	操作ID	対象名	セクタ	クリック	ダブル クリック
2	1	load				
3	2	418617e0-c314-11e9-8959-274577717e1a	dmy_テキスト	#dmy_field{{0}}		
4		<置き換え文字> {{0}}	seqNo <名称>	[0-9] <正規表現>		
5	3	12a519a0-b1ce-11e9-adcc-357d88746481	パスワード入力	#inputPassword		
6	4	12953b20-b1ce-11e9-adcc-357d88746481	ユーザ名入力	#inputUsername		
7	5	2e6273b0-bd9d-11e9-905d-35bb9b18fcea	ログインボタン	#loginForm > butto		
8						

セクタに置き換え文字が含まれている場合

Fig. 3.2.2-3 ページ設定ファイル：操作シート 置き換え文字を含む操作

操作前の流れ、操作後の流れの更新に失敗した操作は更新されません。

3.2.3 操作前の流れシート

ページ設定ファイル：操作前の流れ は、以下の表の(1)～(4)の項目内容で構成されています。
ページ編集画面 操作前の処理設定ダイアログ 対応項目 (A)、(B) は後の図に対応しています。

ページ編集画面の 操作前の設定の項目で **この操作を行う前に処理必要** にチェックを入れ、 **設定** ボタンをクリックして表示される **操作前の処理設定** ダイアログでの設定内容を記載します。

Table 3.2.3 ページ設定ファイル：操作前の流れシート 項目説明

No	項目名	操作前の処理設定 ダイアログ対応項目	必須	ユーザ 編集	説明
(1)	操作No	-	△	可	操作Noを記載します。 操作シートにない操作Noは設定できません。 複数の操作前の処理を指定する場合は、 2つ目以降の行の操作Noは空欄にしてください。
2	対象名	-	-	-	指定した操作Noに対応する操作の対象名(操作名) を表示します。
(3)	詳細	(A) 操作タイプ	○	可	操作タイプを記載します。 記載できる操作タイプは以下の2種類です。 click, mouseover
(4)	セクタ	(B) セクタ	○	可	操作前の処理を設定するセクタを記載します。

	A	B	C	D	E	F
1	操作No	対象名	詳細	セクタ		
2	5	操作1	mouseover	#inputUsername		
3			click	#inputUsername		
4	(1)	(2)	(3)	(4)		
5						
6						
7						
8						
9						
10						

基本情報 操作 操作前の流れ 操作後の流れ アサーション

Fig. 3.2.3-1 ページ設定ファイル：操作前の流れシート

操作前の処理設定

マウスオーバー #inputUsername

クリック #inputUsername

設定

キャンセル

Fig. 3.2.3-2 ページ情報:操作前の処理設定ダイアログ

エクスポートした内容を編集し、既存の内容を更新することができます。

行を **新規追加** することで、**指定した操作No** の 操作前の処理 を追加することができます。

操作に 複数の **操作前の処理** を指定する場合は、2つ目以降の行の **(1)操作No**、**(2)対象名** を **空欄** にし、**(3)詳細** と **(4)セクタ** を指定します。

	A	B	C	D
1	操作No	対象名	詳細	セクタ
2	4	ログインボタン1	mouseover	#hogehoge
3	<空欄>	<空欄>	click	#mogemoge
4	6	ログインボタン3	mouseover	#hogehoge2
5			click	#mogemoge2

一つの操作に複数の操作前の処理が含まれている場合

Fig. 3.2.3-3 ページ設定ファイル：操作前の流れシート 複数の操作前の処理を指定する

(3)詳細 と(4)セレクトが一つも設定されていない、もしくは片方のみが設定されている場合は追加されません。

(2)対象名 は 指定した (1)操作No に対応する操作の対象名を記載します。
このシートで対象名を変更しても反映されません。

3.2.4 操作後の流れシート

ページ設定ファイル：操作後の流れシートは、以下のように作成されます。

ページ編集画面の 操作後の設定の項目で **この操作によってalert/confirm/promptや画面遷移が発生する** にチェックを入れ、**設定** ボタンをクリックして表示される **操作後の処理設定** ダイアログでの設定内容を記載します。

ページ設定ファイル：操作後の流れシートは、以下の表の (1)～(16) の項目内容で構成されています。
ページ編集画面 操作後の処理設定ダイアログ 対応項目 (A)～(L) は後の図に対応しています。

Table 3.2.4 ページ設定ファイル：操作後の流れシート 項目説明

No	項目名	操作後の処理設定 ダイアログ対応項目	必須	ユーザ 編集	説明
(1)	削除フラグ	-	-	可	操作を削除する際に "1" を設定します。 一つの操作Noに複数行ある場合は、 操作Noごとにセルが結合されています。
(2)	操作No	-	△	可	操作Noを記載します。 操作シートにない操作Noは設定できません。 複数の操作パターンを指定する場合は、 2つ目以降の行の操作Noは空欄にしてください。
(3)	対象名	-	-	可	指定した操作Noに対応する対象名(操作名) を記載します。 このシートで対象名を変更しても反映されませ
(4)	パターンNo	-	△	可	指定した操作Noの操作の中での パターンNoを記載します。 複数の操作後の処理を指定する場合は、 2つ目以降の行のパターンNoは空欄にしてくださ
(5)	操作後の流れID	-	-	可	操作後の流れIDが指定されていれば更新、 空白の場合は新規追加になります。
(6)	パターン名	(A) 操作後の流れ： パターン	-	可	操作後の処理のパターン名を記載します。
(7)	画面遷移先	(B) 遷移先	-	可	遷移先のページIDを記載します。 画面遷移先を指定しない場合は空白にしてくださ
(8)	操作後に閉じる	(C) 自分の 画面を閉じる	-	可	操作後に自身のウィンドウを閉じる場合：「o」

(9)	新しく開く	(D) 新しくウィンドウを開く	-	可	ウィンドウを新しく開く場合：「o」
(10)	ターゲット名	(E) ターゲット名	-	可	ウィンドウを新しく開くとき、ターゲットウィンドウがある場合はその名称を記載します。
(11)	ランダムターゲット	(F) ターゲット名はランダム	-	可	新しくウィンドウを開くとき、ターゲット名がランダムの場合：「o」
(12)	詳細	(G) 操作タイプ	-	可	操作タイプを記載します。 記載できる操作タイプは以下の5種類です。 alert, confirm-ok, confirm-cancel, prompt-ok, prompt-cancel
(13)	メッセージ	(H) メッセージ	-	可	操作で表示されるメッセージを記載します。
(14)	セレクト	(J) セレクト	-	可	iframeのセレクトを記載します。
(15)	フレーム名	(K) フレーム名	-	可	iframeを読み込むフレーム名を記載します。
(16)	読み込むページ	(L) ページ	-	可	iframeに読み込むページのページIDを記載します

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
削除フラグ	操作No	対象名	パターンNo	操作後の流れID	パターン名	画面遷移先	操作後に開く	新しく開く	ターゲット名	ランダムターゲット	詳細	メッセージ
1	1	Page Load	1	015a8880-f614-11e9-9115-8755e6d841d9								
2	2	btn_C2_次に進む	1	015e8020-f614-11e9-9115-8755e6d841d9		015be810-f614-11e9-9115-8755e6d841d9						
3	3	操作1	1	c4b36400-f626-11e9-9796-a5496a39569d	test_postOP	c210edd0-f704-11e9-a4fe-55dd05624fd3		o		o	confirm-ok	確認メッセージ
4											alert	アラートメッセージ！
5	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
6												⑬
基本情報 操作 操作前の流れ 操作後の流れ アサーション ⊕												

N	O	P
セレクト	フレーム名	読み込むページ
body > iframe		01577b40-f614-11e9-9115-8755e6d841d9
#hofs		c210edd0-f704-11e9-a4fe-55dd05624fd3
⑭	⑮	⑯

Fig. 3.2.4-1 ページ設定ファイル：操作後の流れシート



Fig. 3.2.4-2 ページ情報:操作後の処理設定ダイアログ

エクスポートした内容を編集し、既存の内容を更新することができます。

行を **新規追加** することで、**操作後の処理** を追加することができます。

パターンNo は **操作後の流れ** の **最初の行** に必ず指定する必要があります。

一つの操作Noの中に **複数のパターン** を指定する場合は、2つ目以降の行の **(2)操作No**、**(3)対象名** を **空欄** にし、**(4)パターンNo以降** を適宜指定します。

一つのパターンNoの中に複数の **操作後の処理** を指定する場合は、2つ目以降の行の **(2)操作No～(7)画面遷移先** を **空欄** にし、**(8)操作後に閉じる** ～ **(11)ランダムターゲット** については適宜指定し、**(12)詳細** と **(13)メッセージ** を設定します。

iframe 生成関連の**(14)セクタ** ～ **(16)読み込むページ** についても適宜指定してください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
新規フラグ	操作No	対象名	パターンNo	操作後の流れID	パターン名	画面遷移先	操作後に閉じる	新しく開く	ターゲット名	ランダムターゲット	詳細	メッセージ	セクタ	フレーム名	読み込むページ
	5	ログインボタン2	1	d9799120-f709-11e9-a4fe-55d05624fd3	遷移を追加してみた	feb7080-f605-11e9-af75-0d3c77a4a84e		o							
	6	ログインボタン3	1	84f86330-f70c-11e9-a4fe-55d05624fd3	00_他のページに遷移	feb7080-f605-11e9-af75-0d3c77a4a84e					confirm-ok	確認-OK !			
				<空欄>	<空欄>	<空欄>					confirm-cancel	確認-キャンセル !			
											prompt-ok	プロンプト-OK !			
											prompt-cancel	プロンプト-キャンセル !			
											alert	アラート !			
			2	84f86330-f70c-11e9-a4fe-55d05624fd3	01_アラートのみ遷移なし						alert	アラートのみ !			
			3	e-55d05624fd3	02_確認-キャンセル_遷移なし						confirm-cancel	確認-キャンセル_遷移なし !			
			4	e-55d05624fd3	03_プロンプト-キャンセル_遷移なし						prompt-cancel	プロンプト-キャンセル_遷移なし !			
			5	e-55d05624fd3	04_プロンプト-OK_遷移あり	feb7080-f605-11e9-af75-0d3c77a4a84e					prompt-ok	プロンプト-OK_遷移あり !			

Fig. 3.2.4-3 ページ設定ファイル : 操作後の流れシート 複数の操作後の処理を指定する

(3)対象名 は 指定した (2)操作Noに対応する対象名を記載します。このシートで変更しても反映されません。

存在しない **操作後の流れID** が指定された場合は **エラー** になります。

(4)パターンNo が入力されていて、(5)操作後の流れID が指定されていない場合は、パターンが新規作成されます。

操作シートに新規追加した操作(インポート時には未作成の操作)に対して操作後の流れIDを指定することはできません。

存在しない **画面遷移先**(ページID)を指定すると **エラー** になります。

画面遷移先のページIDの確認方法は以下の通りです。

- Testabliishのページ一覧から遷移先に指定したいページを選択し、ページ情報画面を開きます。
- ブラウザのURLが `http://<ホスト>/<プロジェクトID>/page/<ページID>` という形式になっていますので、ここでページIDを確認してください。

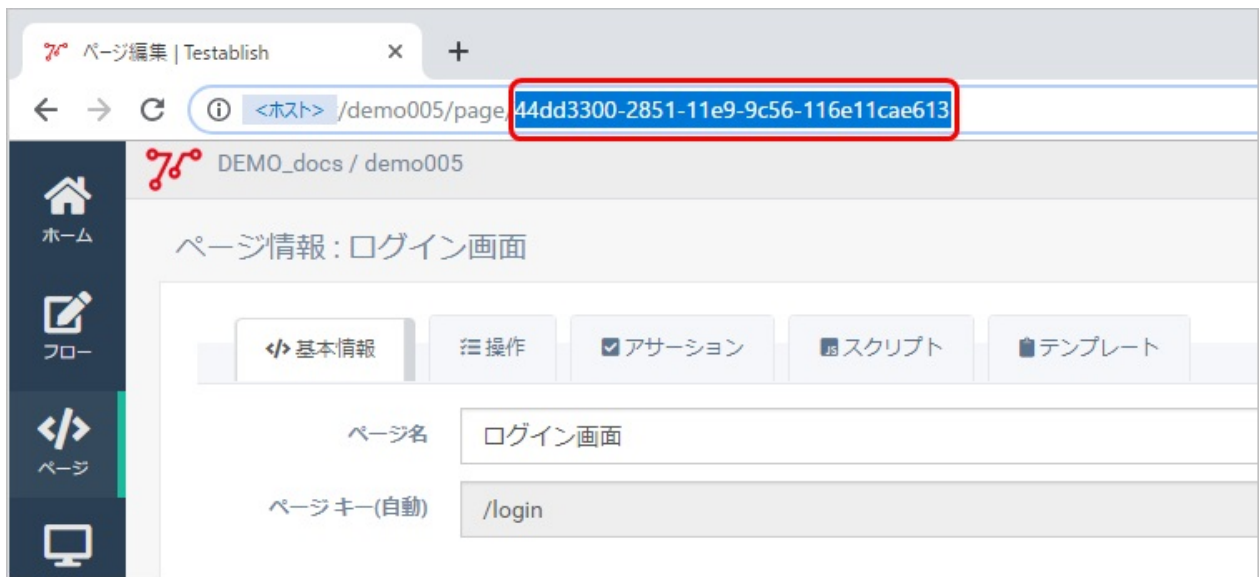


Fig. 3.2.4-4 ページIDの確認

操作後の流れシートの中で操作後の流れに含まれるデータの一部を削除する場合、以下の点にご注意ください。

- 既にダイアログが設定されているデータに対して、設定値クリア（エクセル行削除や、ダイアログに関連するすべての設定値((12)詳細・(13)メッセージ)をクリア）すると次のようなエラーになります。：「**ダイアログ設定の削除はできません。**」
- 既にiframeが設定されているデータに対して、設定値クリア（エクセル行削除や、iframeに関連するすべての設定値((14)セクタ～(16)読み込むページ)をクリア）すると次のようなエラーになります。：「**iframe設定の削除はできません。**」
- 既に画面遷移が設定されているデータに対して、設定値クリア（エクセル行削除や、画面遷移に関連するすべての設定値((7)画面遷移先～(11)ランダムターゲット)をクリア）すると次のようなエラーになります。：「**画面遷移設定の削除はできません。**」
- 削除対象のデータに対して、既にテストで使用されている場合は次のようなエラーになります。：「**すでにテストケースで使用されているため削除できません。**」

- ダイアログ設定を追加した操作後の流れに対して、すでに1件でもダイアログがテストのダイアログアサーションで使用されている場合は次のようなエラーになります。：「**すでにテストケースで使用されているため削除できません。**」

3.2.5 アサーションシート

ページ設定ファイル：アサーションシートは、以下の表の (1)～(6)の項目内容で構成されています。
 ページ編集画面 操作後の処理設定ダイアログ 対応項目 (A)～(D) は後の図に対応しています。

Table 3.2.5 ページ設定ファイル：アサーションシート 項目説明

No	項目名	アサーション 画面对応項目	必須	ユーザ 編集	説明
(1)	アサーションNo	-	○	可	アサーションNoを記載します。
(2)	アサーションID	-	△	可	アサーションIDが指定されていれば更新、 そうでなければ新規追加になります。
(3)	対象名	(A) 対象名	○	可	アサーションを設定する対象名を記載します (4)セレクトに置き換え文字が含まれ、 B列が置き換え文字の場合は、 その名称を記載します。
(4)	セレクト	(B) セレクト	○	可	アサーションのCSSセレクトを記載します。 (4)セレクトに置き換え文字が含まれ、 B列が置き換え文字の場合は、 その正規表現を記載します。
(5)	テキスト一致 テキストを含む テキスト不一致 テキストを含まない 要素数一致 値一致 値を含む 値不一致 値を含まない チェックされている チェックされていない チェック不確定 属性値一致 属性値を含む 属性値不一致 属性値を含まない 属性の指定あり 属性の指定なし 表示されている 表示されていない 存在する 存在しない	(C) 検証タイプ	一つ以上 ○	可	チェックあり：「o」 チェックなし：空白

他の項目は適宜指定してください。

アサーションのセレクトに **置き換え文字** (ex: {{0}})が含まれている場合、次の行以降にその置き換え文字の定義行が追加されます。

置き換え文字の定義は、B列から **置き換え文字**、**名称**、**正規表現** の順に指定します。

置き換え文字が複数ある場合は、その数だけ行が追加されます。

存在しない置き換え文字は指定できません。

指定しなかった置き換え文字の名称、正規表現は空白になります。

	A	B	C	D	E	F
	アサーション No	アサーションID	対象名	セレクト	テキスト 一致	デ テ ィ ー ミ ン グ
1	1	9458f420-30f1-11e9-96de-81d150a44a2b	アサーション1	#cell{{0}}-{{1}}		
2			{{0}} 行	[0-9]		
3			{{1}} 列	[0-5]		
4	2	c4f01230-30f1-11e9-96de-81d150a44a2b	テスト取得	#test{{0}}	o	
5		<置き換え文字> {{0}}	hogehoge <名称>	[0-9] <正規表現>		
6	3	4115f830-2859-11e9-8ace-a957f4df9c70	パスワード入力	#inputPassword		
7	4	f4d0b180-30f1-11e9-96de-81d150a44a2b	操作1	#souse1		

セレクトに置き換え文字が含まれている場合

Fig. 3.2.5-2 ページ設定ファイル：アサーションシート 置き換え文字を含むアサーション

3.3 ページ設定ファイルのインポート

ページ設定をインポートするには、ページ情報の基本情報画面下部の **インポート** ボタンをクリックします。

インポートするファイルは、エクスポートしたファイルの形式と同じでなければなりません。

～漢字混じりの項目をインポートする時の注意～

漢字混じりの項目をインポートした際に、下図のように結果がおかしくなることがあります。

これは、Excelで漢字変換して手入力した際に、漢字のデータにフリガナの情報も付加されることに起因します。

今のところ Excelの設定でフリガナ情報の付加を抑制することはできないので、インポートするデータにフリガナの情報が含まれないようにしてください。

A	B	C	D
操作No	操作ID	対象名	セレクト
1	load		
2		001_新規追加操作	#aaa
3		2_新規ボタン対象名	#ccc
4		承認ボタン	#bbb

Page Load
● user
001_新規追加操作シンキツイカソウサ
change click keydown
● user selector
2_新規ボタン対象名シンキタイショウメイ
click
● user selector
承認ボタン
click
● user selector

Excelで操作を追加するため、対象名を手入力してインポート

Fig. 3.3-2 Testabish ページ設定インポート 漢字混じり項目のインポート

◆フリガナ情報の確認方法：

Excelで 確認するセルを **右クリック** → 表示されるメニューから **ふりがなの表示(S)** を選択

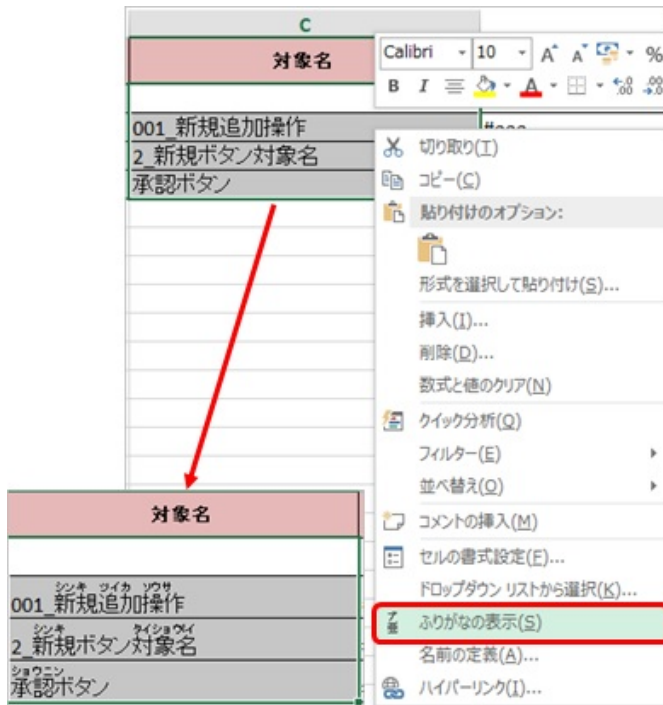


Fig. 3.4-2 Testabish ページ設定インポート フリガナ情報の確認

◆フリガナ情報の簡単な削除方法：

1. Excelで フリガナを削除したいセルを選択して **コピー**
2. 一旦別の適当なセルで **右クリック** → 表示されるメニューの 貼り付けのオプションから **数式(F)** を選択して **貼り付け**



Fig. 3.4-2 Testabish ページ設定インポート フリガナ情報の削除

3. フリガナが削除されているのを確認してから **コピー** し、元の位置に **貼り付け**

3.4 ページ設定インポート結果ファイル

インポートが完了すると、インポート結果ファイルが出力されます。
インポート結果ファイルは <プロジェクト名>_result_<出力日時>.xlsx の名称で出力されます。

結果ファイルには、基本情報シート・操作シート・操作前の流れシート・操作後の流れシート・アサーションシートのインポート結果を出力した **結果シート** が追加されます。

	A	B	C
1	シート名	行番号	内容
2	基本情報		成功
3	操作		成功
4	操作前の流れ		成功
5	操作後の流れ		成功
6	アサーション		成功
7			

結果 基本情報 操作 操作前の流れ 操作後の流れ アサーション +

Fig. 3.4.1 Testabish ページ設定 インポート結果ファイル：結果シート

インポート結果にエラーが含まれる場合は結果シートにシート名・行番号とともに内容欄にエラー内容が表示されます。

結果シートの情報をもとに、各シートのエラーを確認してください。

※ 行番号は エクセルの行番号を示しています。

【例：インポートしたファイルの操作後の流れの13行目と16行目にエラーがあった場合】

	A	B	C
1	シート名	行番号	内容
2	基本情報		成功
3	操作		操作後の流れでエラーがあります。
4			操作後の流れでエラーがあります。
5	操作前の流れ		操作後の流れでエラーがあります。
6			操作後の流れでエラーがあります。
7	操作後の流れ	13	指定された操作タイプは存在しません。
8		16	iframe設定の削除はできません。
9	アサーション		成功
10			
11			

結果 基本情報 操作 操作前の流れ 操作後の流れ アサーション +

Fig. 3.4.2 Testabish ページ設定 インポート結果ファイル：エラーがある場合の結果シート

エラーのある操作後の流れシートを確認します。

13行目では "Confirm-cancel"と指定すべきところに "confirm-CAN" という操作タイプではない値が指定されてエラーになっています。

16行目では、エクスポート時に指定されていた iframe 関連の値(セレクト・フレーム名・読み込むページ)を空欄にしてしまったため、エラーになっています。

	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	パターン名	画面遷移先	操作後に開じる	新しく開く	ターゲット名	ランダムターゲット	詳細	メッセージ	セレクト	フレーム名	読み込むページ
2											
3											
4											
5		ffe94da0-f605-11e9-af75-0d3c77a4a84e									
6	遷移を追加してみた	ffeb7080-f605-11e9-af75-0d3c77a4a84e		0							
7	0-00_他のページに遷移	ffeb7080-f605-11e9-af75-0d3c77a4a84e					confirm-ok	確認-OK !			
8							confirm-cancel	確認-キャンセル !			
9							prompt-ok	プロンプト-OK !			
10							prompt-cancel	プロンプト-キャンセル !			
11							alert	アラート !			
12	01_アラートのみ遷移なし						alert	アラートのみ !			
13	02_確認-キャンセル_遷移なし						confirm-C A N	確認-キャンセル_遷移なし !			
14	03_プロンプト-キャンセル_遷移なし						prompt-cancel	プロンプト-キャンセル_遷移なし !			
15	04_プロンプト-OK_遷移あり	ffeb7080-f605-11e9-af75-0d3c77a4a84e					prompt-ok	プロンプト-OK_遷移あり !			
16	iframe生成										
17											

操作タイプの記載ミス

iframe関連の設定をすべて削除している

結果 基本情報 操作 操作前の流れ 操作後の流れ アサーション

Fig. 3.4.3 Testablish ページ設定 インポート結果ファイル : エラーがある場合の操作後の流れシート

3. ページ設定ファイル 目次 | 入出力ファイル仕様 目次 に戻る

4. Testabliish ページテストテンプレートファイル

- [4.1 ページテストテンプレートファイルのエクスポート](#)
- [4.2 ページテストテンプレートファイルの構成と編集要領](#)
 - [4.2.1 基本情報シート](#)
 - [4.2.2 操作シート](#)
 - [\(1\) 変数のアサーション設定時のテンプレート設定](#)
 - [\(2\) 操作後の流れ内のダイアログアサーション設定時のテンプレート設定](#)
- [4.3 ページテストテンプレートファイルのインポート](#)
- [4.4 ページテストテンプレートインポート結果ファイル](#)

Testabliish は、ページに定義されたテストテンプレートを **ページテストテンプレートファイル** としてエクスポートし、このファイルを編集してインポートすることで、ページのテストテンプレートの更新をすることができます。

編集したページテストテンプレートファイルをインポートすると、**ページテストテンプレートインポート結果ファイル** が出力されます。

作成したページテンプレートファイルは、ページのテストテンプレート編集画面およびテスト編集画面でのテストシナリオ作成の際に読み込むことができます。

テスト編集画面でのテンプレートの読み込み方法については、別マニュアルの **使い方マニュアル** の以下の章を参照してください。

II.各画面の説明

- » 5.2 テスト編集 画面
 - » 5.2.4 操作追加プルダウンメニュー
 - » 5.2.4.7 テンプレートから追加

4.1 ページテストテンプレートファイルのエクスポート

ページテストテンプレートをエクスポートするには、ページテストテンプレート編集画面右上の保存ボタン横のドロップダウンメニューから **エクスポートする** を選択します。

ページ設定ファイルは **<プロジェクト名>_template_<出力日時>.xlsx** の名称でエクスポートされます。

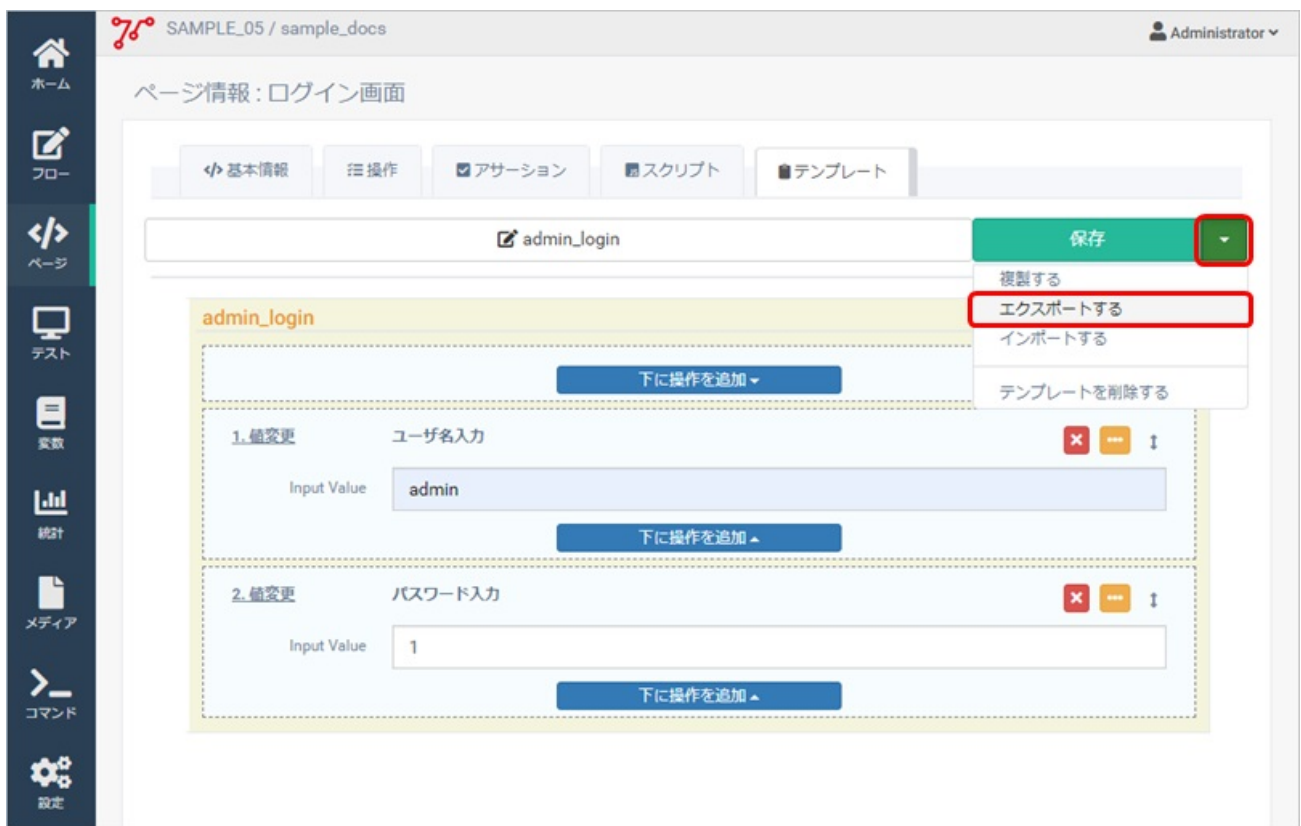


Fig. 4.1 Testablish ページテストテンプレート エクスポートメニュー

4.2 ページテストテンプレートファイルの構成と編集要領

エクスポートしたページテストテンプレートファイルを編集し、インポートすることで、ページテストテンプレートの操作の追加・変更ができます。

ページテストテンプレートファイルは Excel形式で、ダウンロード時に指定した場所に作成されます。ページテストテンプレートファイルは <プロジェクト名>_template_<出力日時>.xlsx の名称で出力されます。

ページテストテンプレートファイルは、以下の2つのシートで構成されます。

- ・ 基本情報
- ・ 操作

4.2.1 基本情報シート

ページテストテンプレートファイル：基本情報シートは、以下の表の (1)~(4) の項目内容で構成されています。

ページテストテンプレート編集画面の 対応項目 (A)~(B) は後の図に対応しています。

Table 4.2.1 ページページテストテンプレートファイル：基本情報シート 項目説明

No	項目名	ページテスト テンプレート画面 対応項目	必須	ユーザ 編集	説明
(1)	ページID		○	-	ページIDを記載します。
(2)	テンプレートID		○	-	テンプレートIDを記載します。

No	項目名	ページテスト テンプレート画面 対応項目	必須	ユーザ 編集	説明
(3)	名前	(A) 名前	-	可	ページテストテンプレート名を記載します。 この内容で更新されます。
(4)	説明	(B) 説明	-	可	ページテストテンプレートの説明を記載します。 この内容で更新されます。

	A	B	C	D	E
1	ページID ①	テンプレートID ②	名前 ③	説明 ④	
2	aaafaf280-12ee-11e9-9ee6-2f0e6bf44ff5	188b04c0-13d0-11e9-b7b5-5908807642dd	export_sample	ページテストテンプレートのエクスポート用サンプル	
3					
4					
5					
6					

Fig. 4.2.1-1 ページページテストテンプレートファイル：基本情報シート

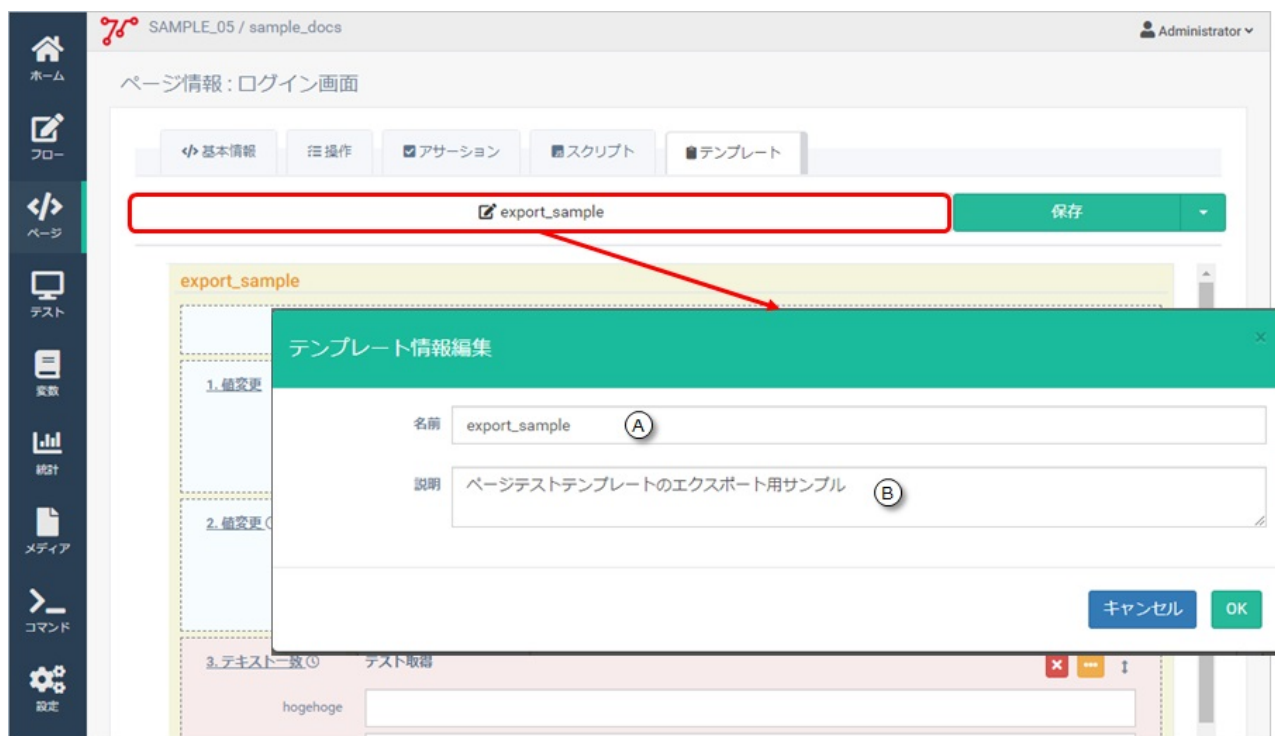


Fig. 4.2.1-2 ページ情報:情報編集ダイアログ

基本情報シートでは、行を追加することはできません。

基本情報シートで可能な編集は、テンプレート名および説明の変更のみです。

4.2.2 操作シート

ページテストテンプレートファイル：操作シートは、以下の表の (1)～(17) の項目内容で構成されています。

ページテストテンプレート編集画面の 対応項目 (A)～(L) は後の図に対応しています。

Table 4.2.2 ページページテストテンプレートファイル：操作シート 項目説明

No	項目名	ページテスト テンプレート画面 対応項目	必須	ユーザ 編集	説明
(1)	No	-	○	-	操作に対して自動的に振られている番号です。 新規作成の場合は手入力します。 番号はシーケンシャルになるように 設定してください。
(2)	操作名	(A) 操作名	○	-	事前にページに登録されている操作名を記載し ます。 ブラウザ操作の場合は空白になります。 値 (6,7) が複数ある操作の場合は2行目以降が 空白になります。
(3)	操作種別	-	-	-	操作の種別を指定します。 共通操作はnullとします。
(4)	操作	(B) 操作タイプ	○	-	事前にページに登録されている操作タイプを 記載します。 (返却値を保持する設定のScriptの場合、新規設定時に 「Script」となっている場合、保存後に「変数代入」 となることがあります。)
(5)	操作ID	-	○	-	事前にページに登録されている操作IDを記載し ます。 ブラウザ操作の場合は空白になります。 値 (6,7) が複数ある操作の場合は2行目以降が 空白になります。
(6) (7)	値 : label 値 : value	(C) 値	-	○	値が指定できる操作を設定しているとき、 その操作のラベルと値を指定します。
(8) (9)	置き換え文字 : label value	(D) 置き換え文字	-	○	置き換え文字が指定できる操作を設定してい るとき、その操作のラベルと置き換え文字に設 定されている正規表現に対する値を記載します。
(10) (11) (12)	操作後の流れ : ID type value	(E) 操作後の流れ	-	○	操作後の流れが指定できる操作を設定してい るとき、その操作のIDと値を指定します。 操作後の流れでダイアログアサーションを設 定している場合、(10)IDは空欄、(11)type(taeget_ind assertion_type, assertion_value, interruption)、 (12)valueが 4行1セットで アサーションの数だけ繰り返されます。
(13)	スクリーン ショット	(F) この操作のあとに スクリーンショット を取得する	-	○	「スクリーンショット」のプルダウン選択 : なし : (空白) ブラウザ : browser デスクトップ : screenshot
(14)	ダイアログ スクリーン ショット	(M) デスクトップ スクリーンショット	-	○	「デスクトップスクリーンショット」に チェックが入っている場合 : [o]

HOME

フロー

ページ

テスト

変数

統計

メディア

コマンド

設定

SAMPLE_05 / sample_docsAdministrator

ページ情報: ログイン画面

基本情報操作アサーションスクリプトテンプレート

export_sample保存

export_sample

下に操作を追加

1. 値変更

ユーザ名入力

Input Value

admin

下に操作を追加

2. 値変更

パスワード入力

スクリーンショット

なし

実行結果をマスクする

タイムアウト(ms)

3000

備考

Input Value

1

下に操作を追加

3. テキスト一致

テスト取得

hogehoge

1

テキスト

テスト管理者

空白の取り扱い

改行の取り扱い

すべての改行を除去

アサーションNGのときにテストを中断する

下に操作を追加

4. Common

待機する

スクリーンショット

ブラウザ

備考

待機中

待機時間(ms)

3000

下に操作を追加

5. Command

ファイルバックアップ

コピー元ファイル名

文字列で指定

data.txt

下に操作を追加

6. 変数代入

ウィンドウタイトル取得

返却値を保持

変数名

(テスト)v_ウィンドウタイトル

下に操作を追加

7. 値一致

変数のアサーション

変数名

(テスト)v_ウィンドウタイトル

値

Login

空白の取り扱い

改行の取り扱い

すべての改行を除去

アサーションNGのときにテストを中断する

下に操作を追加

8. クリック

ログインボタン(手動作成) サンプル

タイアログアサーション

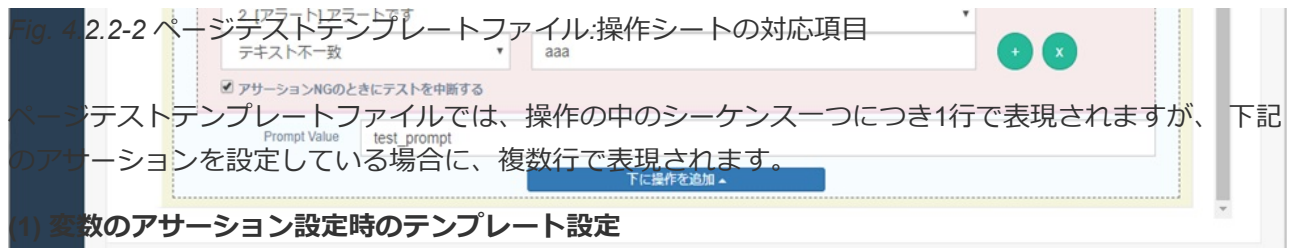
デスクトップスクリーンショット

1. [プロンプト] test_prompt

テキスト一致

test_prompt

アサーションNGのときにテストを中断する



ページテストテンプレート内に変数のアサーションが設定されている場合、値のカラム（Fig. 4.2.2-1 ページテストテンプレート:操作シートの (6)(7)）が「変数名」「値」の2行になります。

7. 値一致

変数のアサーション

変数名

(テスト)v_ウィンドウタイトル

値

Login

空白の取り扱い

何もしない

改行の取り扱い

すべての改行を除去

☒ アサーションNGのときにテストを中断する

下に操作を追加

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	No	操作名	操作種別	操作	操作ID	値	置き換え文字		
9	7	変数のアサーション	common	variable-value-equal		変数名 v_ウィンドウタイトル			
10						値 Login			
11	8	ログインボタン(手動作成)	operation	click	726b52c0-c581-11e9-88b0-03854ee38715	Input Value			726b

Fig. 4.2-3(1) 変数のアサーション設定時のテンプレート設定

(2) 操作後の流れ内のダイアログアサーション設定時のテンプレート設定

ページテストテンプレート内の操作で、操作後の流れのシーケンスに ダイアログアサーションが設定されている場合、値のカラム（（Fig. 4.2.2-1 ページテストテンプレート:操作シートの (11)(12)）が下記の4行になります。

target_index : ダイアログの表示順
 assertion_type : 検証種類
 assertion_value : 検証内容
 interruption : アサーションNGの時にテストを中断する (true/false)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
No	操作名	操作種別	操作	操作ID	値	置き換え文字	操作後の流れ					スクリーンショット
7	変数のアサーション	common	variable-value-equal		変数名 v_ウィンドウタイトル							
10					値 Login							
8	ログインボタン(手動作成)	operation	click	726b52c0-c581-11e9-88b0-03854ee38715	Input Value		726bc7f0-c581-11e9-88b0-03854ee38715	Prompt Value	test_prompt			
12								target_index	1			
13								assertion_type	text-equal			
14								assertion_value	test_prompt			
15								interruption	true			
16								target_index	2			
17								assertion_type	text-not-equal			
18								assertion_value	aaa			
19								interruption	true			

基本情報

操作

8. クリック

ログインボタン(手動作成) サンプル

ダイアログアサーション

デスクトップスクリーンショット

target_index

1. プロンプト test_prompt

テキスト一致

assertion_type

test_prompt

assertion_value

+

x

アサーションNGのときにテストを中断する

interruption

2. [アラート] アラートです

テキスト不一致

aaa

+

x

アサーションNGのときにテストを中断する

Prompt Value

test_prompt

下に操作を追加

Fig. 4.2-3(2) 操作後の流れ設定時のテンプレート設定

エクスポートした内容を編集し、既存の内容を更新することができます。

行を新規追加することで、テンプレートへ **操作** を追加することができます。

追加できる操作は **事前にページに設定** されている **ページ操作**、**ページアサーション**、**ページスクリプト** および **外部コマンド**、**ブラウザ操作**、**変数のアサーション** です。（全ページ共通に設定されている操作も含まれます。）

操作IDの確認方法は以下の通りです。

Testabishで指定したい操作(**ページ操作**、**ページアサーション**、**ページスクリプト**、**外部コマンド**)を選択し、それぞれの編集画面を開きます。

ブラウザのURLは以下のような形式になっていますので、ここで各操作IDを確認してください。

- http://<ホスト>/<プロジェクトID>/page/<ページID>/operation/auto または user/<ページ操作ID>
- http://<ホスト>/<プロジェクトID>/page/<ページID>/assertion/<アサーションID>
- http://<ホスト>/<プロジェクトID>/page/<ページID>/script/<スクリプトID>
- http://<ホスト>/<プロジェクトID>/command/<コマンドID>

全ページ共通設定の操作の場合は <ページID> が common になります。

また、変数のアサーションの場合は、操作IDは空欄になります。

4.3 ページテストテンプレートファイルのインポート

ページテストテンプレートファイルは、**ページテストテンプレート編集画面** および **テスト編集画面** で読み込むことができます。

ページテストテンプレート編集画面右上の保存ボタン横のドロップダウンメニューから **インポートする** を選択します。

テスト編集画面の **下に操作を追加** ドロップダウンメニューで **テンプレートから追加** を選択します。

この場合、インポートするファイルでは、**基本情報シート**を削除し、**操作シート**だけにしておく必要があります。

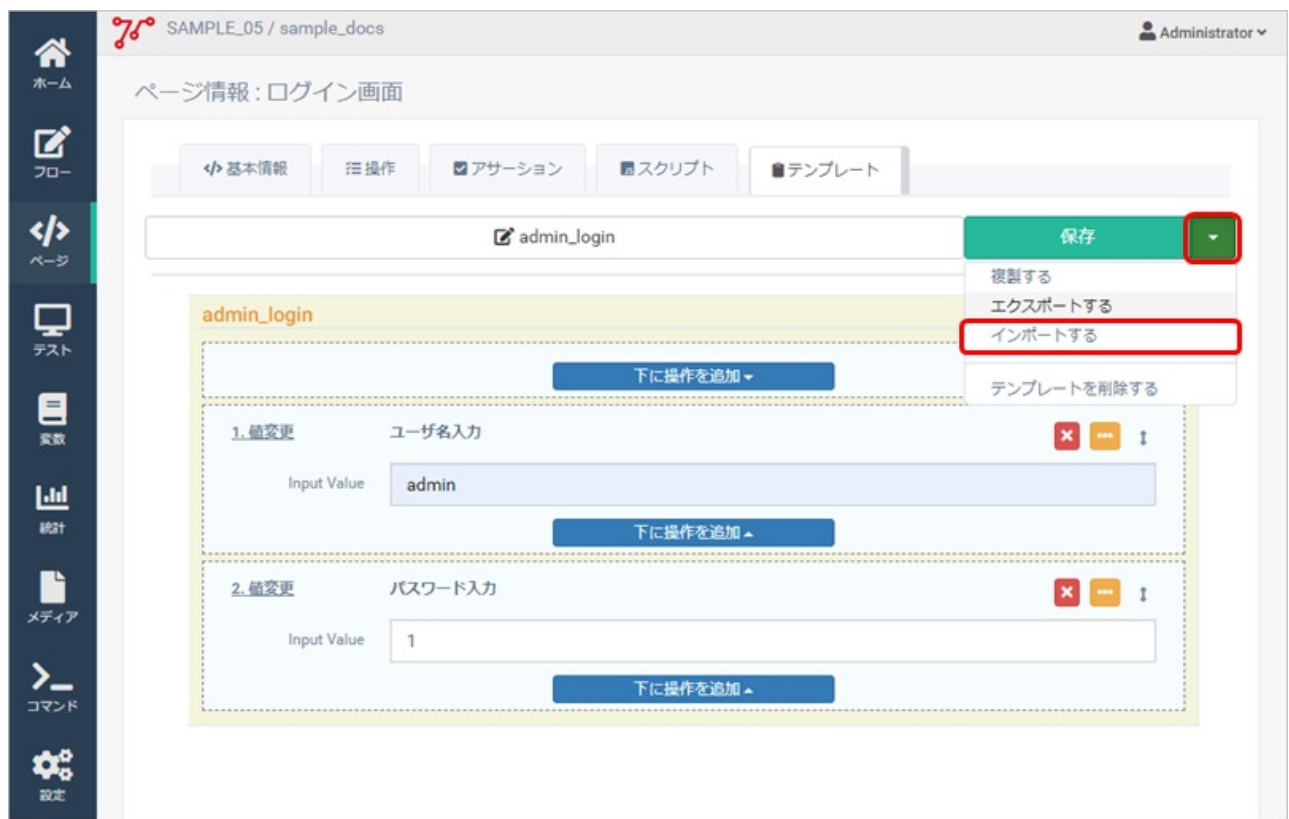


Fig. 4.3-1 Testablish ページテストテンプレート インポートメニュー

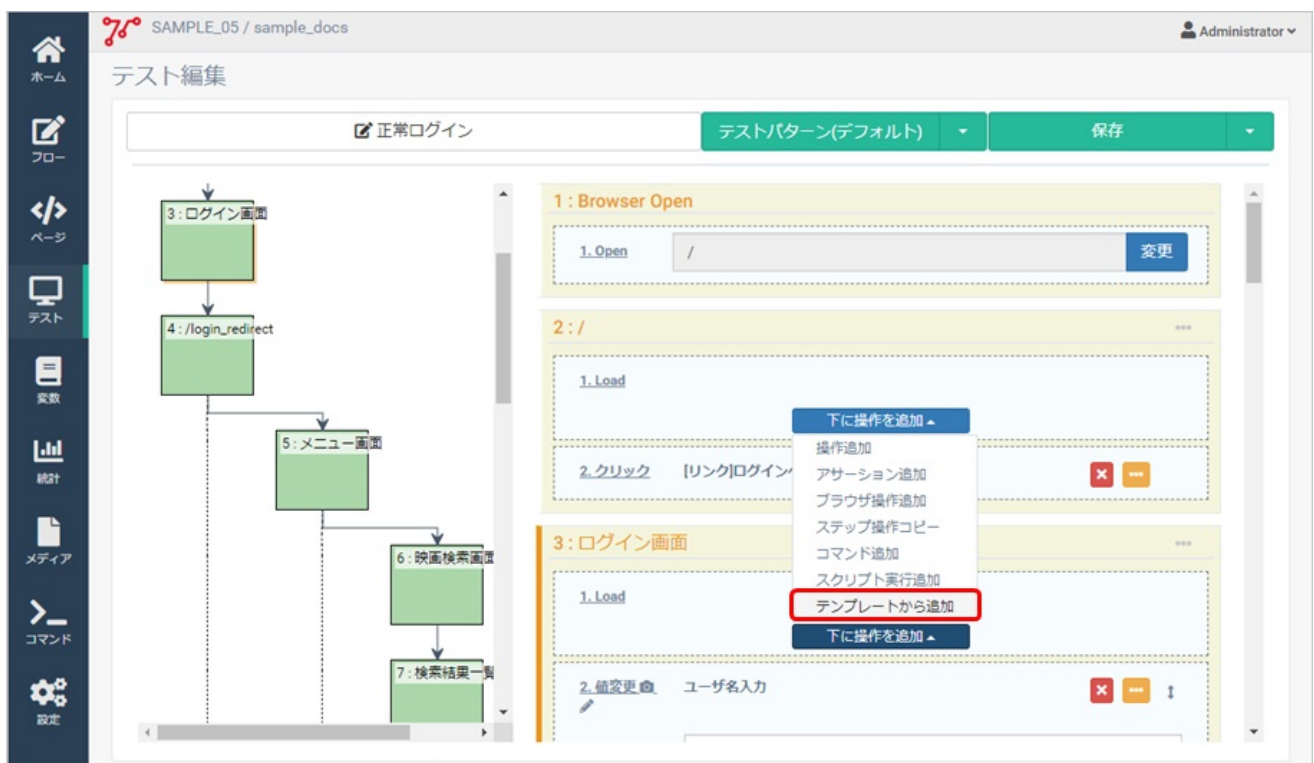


Fig. 4.3-1 Testablish ページテストテンプレート テスト編集画面 テンプレートから追加

4.4 ページテストテンプレートインポート結果ファイル

インポートが完了すると、インポート結果ファイルが出力されます。

インポート結果ファイルは <プロジェクト名>_result_<出力日時>.xlsx の名称で出力されます。

インポート結果ファイルは、インポートしたファイルのそれぞれのシートのA列にインポート結果が追加された形式になっています。A列の結果を確認してください。

- ・正常にインポートした場合は、A列は **空欄** になります。
- ・エラーがある場合に、A列にメッセージが記載されます。

A	B	C	D	E	F
結果	ページID	テンプレートID	名前	説明	
	aafaf280-12ee-11e9-9ee6-2f0e6bf44ff5	188b04c0-13d0-11e9-b7b5-5908807642dd	NG_export_sample	NGページテストテンプレートのエクスポート用サンプル	

Fig. 4.4.1 Testabish ページテストテンプレート インポート結果ファイル：基本情報

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	結果	No	操作名	共通操作	操作タイプ	操作ID	値		置き換え文字	操作後の流れ		スクリーンショット	タイムアウト	コメント	
1		1	#inputUsername		change	ab01d050-12ee-11e9-9ee6-2f0e6bf44ff5	Input Value	admin							
2		2	パスワード入力		change	ab58f100-12ee-11e9-9ee6-2f0e6bf44ff5	Input Value	1							
3	指定したアクションが見つかりません	3	テスト取壊		text-equal	xxxx	テキスト	test管理者	{{(0)}} 2						
4		4	sleep	o			タイムアウト(ms)	2000				o	待機中		
5		5	パッチファイル読み込		command	6bd5ff30-13d1-11e9-b7b5-5908807642dd	読み込むファイル名	data.txt							
6		6	ウィンドウタイトルチェック		script	a966e100-131a-11e9-a7ca-73f0e2ab0114	タイトル文字列	login画面							
7		7	ログインボタン (手動作成)		click	796eb020-131c-11e9-a7ca-73f0e2ab0114	Input Value		971b94d0-131c-11e9-a7ca-73f0e2ab0114	OK					
8															
9															
10															
			基本情報	操作											

Fig. 4.4.2 Testabish ページテストテンプレート インポート結果ファイル：操作

4. ページテストテンプレートファイル 目次 | [入出力ファイル仕様 目次](#) に戻る

Base version Testabish_v1.4.7

\$Revision: 840 \$ \$Date:: 2023-05-02##\$